

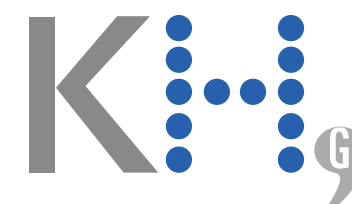
特集1 100年目の川島病院にむけて

ドクター紹介

2023年度事業計画

特集2 シルバーハイツ飛鳥

2022-2023 Photo report



K ind 優しい

H onest 誠実な

G rowing 伸びゆく

社会医療法人 川島会

●川島病院

●川島透析クリニック ●鴨島川島クリニック ●鳴門川島クリニック

●脇町川島クリニック ●阿南川島クリニック ●藍住川島クリニック ●住宅型有料老人ホーム シルバーハイツ飛鳥

社会福祉法人 飛鳥

●ケアハウス ●在宅介護支援センター ●デイサービスセンター ●ヘルパーステーション

医療法人 さくら診療所

川島ホスピタルグループ広報誌 第21号 2024年1月発行 発行／川島ホスピタルグループ

〒770-0011 徳島市北佐古一番町6番1号 TEL.088-631-0110 FAX.088-631-5500

企画・編集／川島ホスピタルグループ・広報委員会 川島ホスピタルグループホームページ <https://khg.or.jp/>

デザイン・印刷・製本／太陽高速印刷(有)





表紙写真: 霧の大鳴門橋 (4月)
大鳴門橋を見下ろす展望台からの眺望。次から次へ朝霧が生まれ、今にも橋を覆い隠そうとしている。撮影/川内秀喜

Contents

Kawashima Hospital Group Magazine

2 特集1 100年目の川島病院にむけて 開院90周年 医療法人60周年 社会医療法人10周年

20 ドクター紹介 安倍正博先生(血液内科)、金山博臣先生(泌尿器科)

24 職員の素顔

26 特集2 シルバーハイツ飛鳥

30 2023年度事業計画

31 フォトレポート

健康・福祉フェスタ、慰安旅行、BBQ大会、杭州アジア大会(藤倉みき)
部活動(バレーボール、バドミントン、野球)

40 新入社員歓迎会

41 2022-2023年 資料編



K ind 優しい

H onest 誠実な

G rowing 伸びゆく

私たちの病院の理念

- 1 患者さんをはじめ、関係する方々との信頼関係を築きます。
- 2 病院経営の質の向上に努め、良質で効率的かつ組織的な医療を提供します。
- 3 地域社会の健康および福祉の増進に貢献することを使命とします。

私たちの病院の基本方針

私たちの病院は

- ① 患者さんや家族の方々との信頼関係に基づいた、患者さんの立場に立った医療を提供します。
- ② 公正な医療の提供と医療の質の向上に努めます。
- ③ 腎泌尿器疾患、循環器疾患、糖尿病、血液内科、消化器内科、整形外科の診断と治療に総合的に携わる病院として地域の皆様に信頼していただけるよう、日々全力を傾注します。
- ④ 患者さんに安心して医療を受けていただけるような良質な医療環境 医療体制を構築します。
- ⑤ 地域社会の一員として、また社会的存在として行動し、その責任を果たします。

開院90周年
医療法人60周年
社会医療法人10周年

特集1

100年目の 川島病院にむけて

2023

川島病院

川島会長との出会いが腎移植の道へ

川島病院 理事長 水口 潤

私 が腎不全医療に携わるようになったのは内科研修医時代の昭和53年でした。当時は徳島県西部には透析施設がなく、患者さんは県東部まで遠距離を病院していました。このような地域性から徳島厚生連阿波病院に透析室が開設され、内科系の担当は私となり透析に加え腎炎の診療も行うこととなりました。

透析医療の経験がなかったため、川島病院へ見学に行ったのが川島会長との出会いでした。当時の患者さんの平均年齢は40歳代であり、透析を開始して10年生存すれば患者会から表彰されるような時代でした。したがって患者さんの腎移植への期待は大きく、多くの患者さんが腎移植を希望していました。腎不全医療に携わる以上、この期待に答えるなければならぬと思い、川島会長のすすめ、東京女子医科大学腎臓病総合医療センターでの研修を決意しました。私は内科医でありましたが、外科の移植グループに属し約300例の腎移植を経験、

移植手術も習得し、昭和60年8月に川島病院の新築移転に合わせて入職しました。新病院（旧病院1号館）は透析患者さんの増加や腹膜透析、腎移植への対応を目的としたものであり、翌年の昭和61年8月には徳島県で初めての腎移植をおこないました。この頃の川島病院の病床は40床、病棟の看護師は10名もない状況で二抹の不安はありましたが、東京女子医大腎センター太田和夫教授の「私が手伝いに行くからやりなさい。組織は後からついてくる。」とのお言葉に支えられ無事成功することができました。その後、腎不全合併症や糖尿病性腎症による腎不全の増加に対応するため、新たな診療科の開設と充実に努め平成3年には整形外科、平成7年には糖尿病内科、平成10年には病院に隣接する循環器クリニックを開設（旧病院3号館）、続く



父の開院から継承へ

川 島会は昭和8年（1933年）に私の父川島有季が開設した川島医院を母体として発展してきました。場所は現在の佐古三番町あたりですが、第二次大戦中の空襲によりこの辺りは壊滅したので、正確な場所は不明です。父は岡山大学医学部を卒業後、徳島市内の若林病院で1年間勤務した後、開業しました。1年間民間病院で医師をしただけで開業するとは現在では考えられない話ですが、父から聞いた話では大学の同級生であった川崎医科大学創立者の川崎先生も似たような経歴だったようです。いずれにせ

よそれから30年後の昭和38年（1963年）に父と長兄、長兄の妻の3人の医師で医療法人川島会を設立し、佐古三番町に医療法人川島会川島病院が誕生しました。私は昭和46年に京都府立医科大学を卒業し徳島大学第一内科に入局しましたが、腎不全治療を専攻したいと思い昭和48年から東京女子医科大学人工腎臓センターに転籍しました。そして家庭の事情で昭和51年から川島病院を継承することになり、院内に透析室を開設しました。この頃は全職員数20人程度、病床も20床という小規模病院でした。また川島病院の医師は実質私一人でした。私は医師としての経験

は5年弱で未熟でしたが、透析患者数は順調に増加しました。この頃の透析導入患者さんは30歳から40歳の人が多く、糖尿病由来の患者さんは殆どいませんでした。今から考えると信じられませんが、我々職員チームと患者さんチームで時々ソフトボールの対抗戦をしました。結果はほぼ互角でした。迷惑患者もなく、ほぼ私一人で24時間365日勤務でしたが、いい時代だったと思っています。しかし色々手狭になりましたので昭和60年8月に北佐古三番町に新築移転しました。水口理事長もこの時から入職し、病院らしい体裁が整い出したわけであります。



川島ホスピタルグループ 会長

川島 周



LOOK BACK

1933

1933

川島病院のあゆみ



病院創始者の川島有季（開院当時）



前列左から2人目が川島周理事長
前列中央有季前理事長（昭和27年）



1963

昭和38年
医療法人川島会設立
（徳島市佐古三番町四一七）

1965

昭和40年
川島医院から川島病院となる



1976

昭和51年
川島周理事長 就任
川島病院透析室開設
腎臓に関する医療機関指定



透析室開設披露パーティー

多くを学び若い世代へ

サッカーW杯日韓共同開催された2002年に入職しました。初めて配属された部署は鴨島川島クリニックでした。鴨島では患者さんとの接し方を学びました。その後川島病院で透析室、循環器病棟、慢性期病棟で勤務しました。病棟では急性期での対応、循環器疾患、腎不全保存期から透析導入まで、腹膜透析、腎移植（ドナーとの関わり）など非常に多くの事を学びました。その一つ一つが私の財産となっております。年齢的にもベテランと呼ばれる歳になりました。今後は今まで受けた恩を患者さんや、若い世代に還元できればと思っています。

鳴門クリニック 看護師主任 藤井 功



劇的に改善した医療を目に当たりに

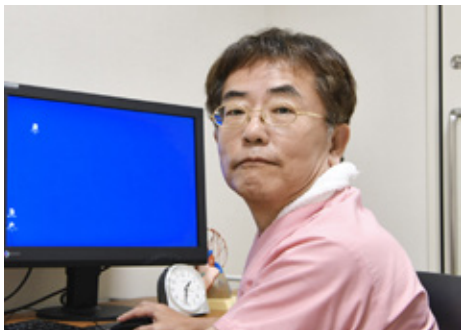
う26年が過ぎた。
1997年4月に

入職、東京女子医大心臓血管研究所にて循環器内科研修をさせてもらった。地方病院では診れない患者数、多彩な疾患を経験した。β遮断薬が心不全に有効であるエビデンスがはじめで、移植寸前の重症心不全が改善してゆくさまもみた。余談だが、女子医大の医療練士で研修した若い医師らの総合診療能力の高さには驚かされた。

翌年、帰郷して循環器クリニック開院までに、川島病院に勤務した。その時に、慢性腎臓病・血液透析患者の内科疾患などを診ることになった。腎不全合併した方の治療は特殊でこつがある。血液透析のすごさは、尿毒症改善のみならず、とくに腎機能

循環器内科 診療部長

木村 建彦



の低下した心不全では透析により肺うっ血が劇的に改善し、薬物とは比べものにならない短期的効果である、循環器医師にとっては強力な手段を得た。それまで泌尿器科の先生から、シャント作製する血管は1か月前から、点滴や採血はしてはいけないと教えられていたが、ささまで点滴していた血管で即日内シャントを作製、そのうえ

も、遠隔地から通院する患者さんの利便性や地域の透析ベッド不足の充足を図るためサテライトクリニックの設立にも努め、既存の鴨島川島クリニックに加え平成11年鳴門川島クリニック、平成23年脇町川島クリニック、平成27年川島透析クリニック、平成28年阿南川島クリニックを増設しました。また、医療法人川島会は医療供給体制の持続性や公共性を保つため、平成25年には社会医療法人化をおこないました。

このように病院の急速な発展に伴い増改築を繰り返したため、構造が複雑で迷路のようになり、新しい職員は迷子になってしまうような状況でした。このような状況のなか、外来や透析患者数の増加、新しい診療科の増設など事業の拡大に対応する必要性も加わり、透析クリニックに隣接した新病院を建設することとなりました。

新病院の設計当初の構想としては、患者数の増加や診療科目の充実に対応するため、規模を大きくするとともに、最新の設備を整えること。また南海トラフによる大震災が予想されるなか、免震構造とし診療部門を2階以上に置くことにより、震災や水害の場合にも診療を継続できるよう、それらの影響を受けにくい構造とすることでありました。新病院の建設は令和2年1月より開始されましたが、建設当初のコロナ感染の拡大に伴い、医療施設における感染対策の重要性を感じ、感染症外来や感染症対応病室などの設置、感染対策を考慮した導線の見直しなどの追加工事や設計の変更をおこない、令和3年8月の新病院開院に至っています。

「川島病院 腎センター」名称使用が認められる

現在、社会医療法人川島会は川島病院を中心に、6つのサテライト透析クリニックで診療を行い、腎臓内科、循環器科、糖尿病内科、泌尿器科、また最近では消化器内科、整形外科、血液内科などを実施させ、専門医と最新の診療機器により、各専門領域の診療に力を注いでいます。特に腎疾患領域では徳島県内において腎生検数、透析患者数、腎移植患者診療などの分野で約4〜5割の症例数を占めています。また徳島透析医会の透析災害基幹病院に指定され、災害時には対策本部が設置されることになっています。このような活動が評価され、新病院では徳島県より「川島病院 腎センター」の名称使用が認められました。民間病院において腎センターの名称使用が認められることは全国的に見ても稀なことであり、大変光栄に思っています。このように専門病院としての印象の強い川島病院であります。全国的に医師偏在が課題となつている現在の医療情勢のなか、三好市の西祖谷山村診療所への医師派遣により社会医療法人として県内の僻地医療対策の一端も担っています。

1982

昭和57年
鴨島川島クリニック設立
(旧麻植郡鴨島町敷地)

1985

昭和60年
川島病院現在地へ移転
(徳島市北佐古一番町1-39)
透析ベッド数65床となる
水口潤院長就任
CAPD療法開始



北佐古一番町に移転間もない頃の病院



記念のテレフォンカード

1986

昭和61年
県下で初めての腎臓移植手術施行



1988

昭和63年
増築第2期工事完成
透析ベッド数95床となる
結石破碎装置導入、体外衝撃波腎・尿管結石破碎術施設基準承認



結石破碎装置

1990

平成2年
遺伝子組み換え
ヒトエリスロポエチン製剤が
透析患者に適用となる

1991

平成3年
増築第3期工事完成
整形外科・眼科診療開始
精神科カウンセリング開始



増築第3期工事完成時において

様々な取捨選択はポジティブに

来年2024年2月で入職20年を迎えます。入職前は社会福祉法人川島会あすか訪問看護ステーションで訪問看護をしていました。19年前に訪問看護ステーションが川島病院へ移管し、その後外来部門へ移り、私自身いつの間にか川島病院の一員となっていたという感覚でした。在宅で行う看護を経験した後、改めて川島病院勤務となったときは、大きな組織に守られているという感覚だったのを覚えています。その後に病棟、透析室、外来勤務へと部署異動し、いろんな経験をさせて頂きました。20年を振り返り、原点である訪問看護の経験が、病院内での患者さんの関わりに多少ですが活かすことが出来たように感じます。

2030年に日本の総人口の約3分の1が65歳以上の高齢者になると言われています。慢性疾患や認知症の患者が増加し、地域包括ケア体制が構築される中、看護師が活躍するフィールドも広がり、その役割も多様化しています。私は2023年4月より看護部長を拝命いたしました。KHGの求める看護師像は病院のロゴにちなんでKind:優しい、Honest:誠実な、Growing:向上する看護師としています。看護・介護はこの先もAIやロボットに置き換わらない職業とされていますが、それは患者さん、ご家族に寄り添い、必要とするケアを提供する看護・介護の本質があるからだと思います。今後も質の高い看護・介護を提供できるための人材育成に尽力したいと考えます。そして、職員が生き生きと働き続けられる職場環境にすることも看護部長としての大きな役割の一つと考えます。現在看護部は慢性的な人員不足に加え、近年のコロナ感染症の蔓延が職場環境に影響しています。そこで必要な事は業務改善と、発想の転換だと考えます。一人一人が自己の役割を十分理解し、それを発揮しつつ、他のスタッフと協力し合うことで、働きやすい環境へつながっていくと考えます。何を優先すべきかを考え、削減できることを取捨選択し、足し算でなく引き算の発想で業務、考え方をシンプルにすることが重要です。物事をポジティブに捉え、笑顔が多い何でも話し合える職場風土にしたいと思います。終身雇用ではなく、自分に合った職場を求めて転職する時代だからこそ、選んでもらえる看護部になるように管理者がまず手本となり、取り組んでいきたいと考えます。



看護部長
西分 延代



看護師会の様子



翌日には穿刺して血液透析導入するのである、人工血管でも翌日穿刺できるものは穿刺した。血流量（QB）250 ml以上とれないのはシャントではないと、シャントに対する認識も改めさせた。そのうえ、看護師・技士さんが医師よりも上手にシャントの穿刺をきめていたのもおどろいたが、それは川島病院では日常であった。

当時の医局は、川島周先生（川島病院院長）、水口潤先生（川島病院副院長）、水口隆先生（鴨島クリニック院長）、香川和夫先生（のちに鴨門クリニック院長）、川原和彦先生（腎内、小児科）、野崎大司先生（東京女子医大泌尿器科からの出向）、このメンバーで透析患者さん約600名を治療しており、さらに腎移植まで。非常勤の先生方もいたが、今では想像できない仕事量だっただろう。

そこに循環器クリニック開院のために、西内健先生（循環器クリニック院長）、荒木（加藤）みどり先生、そして私の三人が加わることになったわけである。19床の有床診療所だが開院前に循環器病院研修をうけたスタッフで構成され、救急車・緊急カテーテル検査にも対応し、主として透析患者さんの心臓合併症の治療を担当した。2010年、川島病院と統合となり川島循環器クリニックは30床の川島病院3病棟となった。慢性腎不全の合併症には特殊性・多様性があり、いまでも勉強させられる。まだまだ知らない病態もあり、日々勉強あるのみである。



川島循環器クリニック開院祝賀会



川島循環器クリニック

1998

平成10年
川島循環器クリニック開設
オーダーリングシステム導入

1997

平成9年
あすかデイサービスセンター、
あすか在宅支援センター開設

1996

平成8年
ケアハウス「あすか」開設



1995

平成7年
社会福祉法人「飛鳥」設立
糖尿病外来診療・糖尿病教室・
糖尿病学習入院開始
中国四国 述懇話会



1994

平成6年
泌尿器科専門外来診療開始
透析室火・金・土2シフト制開始
医療法人川島会から
医療法人川島クリニックを分離

1992

平成4年
夜間透析開始
（月・水・金3シフト制）





有病者の全身状態を知り、 歯科診療が果たすポジションを 的確に担う

歯科医長 川島友二郎

歯

科の開設は今年でちょうど15年という節目となりますが、長い川島病院の歴史を考えますと、まだ始まったばかりとも言えます。私が入職したのは、開設翌年の2009年10月で歯科医師として5年目の秋でした。それまでは徳島大学口腔外科、大阪の開業医を経験してきました。大学では大学院生として臨床と研究を行い、最初に働く場所が地元とはいえ、母校ではなかったためか様々な苦労が多かったように思います。大阪の開業医は診療室から訪問診療まで、本当にたくさんの患者さんを診て、遅くまで診療していま



歯科開設時の内覧会にて

した。土地柄もあるのかもしれませんが、じっくり診療するというよりは、受診される患者さんを次々と診療していく毎日でした。社会人としても、歯科医師としての経験も浅かったことあると思いますが、やりがいを感じ余裕もなく、必死で仕事していました。川島病院へ入職し

て10年あまりが経過しました。強く印象に残っているエピソードとして、入院患者さんへ新しい義歯を装着すると、その日のうちに痛い、食べられないという訴えがあり病棟から即連絡があった事でした。冷静に考えてみると入院されているのだから、あつて然るべき事象と言えます。診



1999

平成11年
鳴門川島クリニック開設
(夜間透析対応)



2000

平成12年
院内託児所開所(あすか保育所)



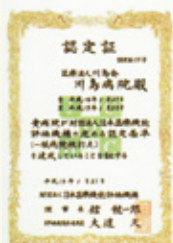
2001

平成13年
鴨島川島クリニック新築移転
(夜間透析対応)



2002

平成14年
川島病院財団法人医療機能評価機構認定
川島ホスピタルグループ設立
KHGロゴ完成



2005

平成17年
川島病院増築棟(二号館)完成
川島循環器クリニック
透析室開設

日々勉強

私が入職した時の一番の思い出は、川島会の職員でお花見をしたことです。病院から1km程歩き、諏訪山の山腹にある諏訪神社までの階段は、長く急できつかったけれど、そこから見渡す佐古の町並みは、桜と相俟ってとても綺麗でした。

新人歓迎会では、同時に永年勤続表彰式もあり、20年務められた諸先輩方を見て、「私も20年を目指して頑張りたいです。」とスピーチしたことを覚えています。そんな目標もあつという間に到達し、今は定年退職を無事に迎えることが次の目標となっています。しかし、ただその日を待つのではなく、年々進化している医療機器に対応すべく、日々勉強し、初心を忘れることなく邁進していく所存であります。



臨床工学技士 成瀬 裕深

TOPICS

県内初の腎移植手術が行われたのは、1986年の川島病院であった。それから25年経過した2011年11月5日、県内で初めての脳死移植（家族承諾による臓器提供は四国初）による腎臓移植で、同時に徳島大学病院にも臓器が提供～移植された。

徳島新聞では11月5日（移植当日）の朝刊、同日の夕刊、翌6日の朝刊トップで続報を伝え、翌7日には社説や鳴潮に報道の紙面を割き脳死移植の理解を深める契機とした。

※徳島新聞報道より誌面を一部使用



2011

療を行ったその後は来週ではなく、もう数時間後には結果がわかるということです。現在取り組んでいる摂食嚥下障害患者への対応がありますが、そもそも摂食嚥下障害とは、患者さんが食事を見て、口に取り込んで口の中でまとめ、のどに送り込み、のどから食道へと一連の動きのどこかに問題が生じていることをさします。食事をすることが治療の一つである入院患者さんですが、振り返れば、摂食嚥下障害への考えが希薄というかおおよんでいなかったと思います。

川島会での抱負

抱負というか、歯科医師としての決意のようなものとなりますが、歯科診療は抜歯してしまうことから、歯を治す、歯をいかにして保存し機能させるかという潮流であり、自分も歯科という仕事は歯そのものにフォーカスして、いかに器用に治療するか、そういう仕事だと考えていました。しかし現在はいかに全身の状態を知り、歯科治療を行うかが主流となっています。そして超高齢化のこの時代において

は、かつては機能していた状態をいかにして元に戻すかという、リハビリテーションを中心とした歯科診療にシフトしていると考えます。

当院では、透析患者、糖尿病患者、循環疾患患者といった有病者の歯科診療をおこなっておりま。具体的にはう蝕治療、抜歯、義歯の作製などの一般的な歯科診療、周術期における口腔内管理、食事困難な摂食嚥下障害の患者への対応です。周術期における口腔内管理とは、手術、化学療法等により免疫力の低下した状態では、口腔内の感染拡大や口腔内由来の感染を引き起こす可能性があり、術前にスクリーニングを行い、手術後まで歯周病治療を中心に感染源の除去を行っていくことです。摂食嚥下障害患者への対応とは、口腔機能などは問題ないか、食事摂取が可能かどうか、現在の食事形態は適切かどうか、食事を行うに際し環境は整っているか様々な問題を見つけ対応することです。

歯科医師になって20年近く経過し、歯科診療が技術的に大きく前進しているとは考えませ

んが、このように歯科医療が医療の中で果たすポジションは大きく変わってきています。今後の展望として、私の先輩からの教えでもあるfrom Decay to Dysphagia（う蝕から嚥下障害まで）を目標に診療を行っていきたいと思います。歯科（個）を医療（集団）の中でどのような役割を担い、遂行できるかを歯科医師、歯科衛生士が一つの専門職としてできることを考え、次の10年むけ歩んでいきたいと思っています。



2006

平成18年
鴨島川島クリニック全自動コンソール導入
鳴門川島クリニック全自動コンソール導入
透析室工事完成予定
透析ベッド数234床となる
（川島ホスピタルグループ内総数）

2007

平成19年
増築第4期工事完成予定
川島病院 売店・喫茶
四国銀行ATM開設（3月）
川島病院病床数改訂
1病棟（29床）2病棟（37床）



川島病院1号館西側改築工事

2008

平成20年
川島病院歯科、
歯科口腔外科開設（4月）



川島病院歯科開設・落成祝賀会

2009

平成21年
川島循環器クリニック
冠動脈CT装置導入
川島病院 MRI装置導入

2010

平成22年
医療法人川島会・
医療法人川島クリニック合併（6月）
川島病院・川島循環器クリニック
統廃合（9月）
一般病床123床

2011

平成23年
脇町川島クリニック開院（5月16日）
グリーンライトレザー手術開始



県西部を担い、 各臓器の 専門医と連携し、 積極的治療を

協川島クリニック 院長 深田 義夫

脇 町川島クリニックは
2011年5月16日に
開院し、今年で12年になりました。

この間、主として、美馬市から三好市にかけての徳島県西部に、ご在住の末期腎不全患者さんの治療と糖尿病の治療を担当してきました。2023年7月現在、105人の血液透析患者さんを治療しております。

末期腎不全の治療選択には、腎移植、血液透析、腹膜透析の3つの選択肢がありますが、当院でも数人の患者さんが、すでに腎移植を受け、また数人の腹膜透析の患者さんの治療を続けております。血液透析においては、高性能のRO装置を導入

入し、超純粋水を用いた透析液を使用しております。HD Fを約80%の患者さんに提供しています。この治療には水質管理が重要で、臨床工学技士達が定期的にエンドトキシンや細菌の検査をしつつ、水質の確認を継続しております。

2022年には患者ベッドサイドの透析装置を新調し、ダイアライザーも種々の改良がなされ、より安全な血液透析をご提供できるようになりました。末期腎不全患者さんに高頻度に合併する心血管病変につきましては、川島病院や徳島赤十字、県立中央病院などの循環器専門医と連絡をとりながら積極的治療をしており、透析治療に並行して冠動脈バイパス後や、冠動脈や、下肢動脈のカテーテル治療後の患者さんの治療をしております。また透析患者の肺がん、すい臓がん、腎がん、消化器がん、前立腺がんなどの悪性腫瘍につきましても、各臓器の専門医に治療を依頼し、連携をとりながら治療を進めております。最近では看護師によるシャントエコー検査が出来るようになり、シャント・トラブルへの対応もいっそう早期にでき



るようになりました。

腎性貧血治療は、これまでエリスロポエチン製剤の注射剤による治療のみでしたが、2019年から経口剤が発売され、当院でも内服投与による貧血治療が多くの患者さんにできるようになっております。この薬には副作用も報告されていますので、慎重に適応を検討して処方しております。

2012年からは野間先生による糖尿病専門外来が開設され、多くの糖尿病患者さんが受診され、また糖尿病から透析となった患者さんのより良い糖尿病管理がなされております。

2020年から始まった新型コロナウイルス感染は猛威を振るい、当院の患者さんも多数感染しました。当時は感染症法2類でしたので、感染すると川島病院へ入院するか、通院して透析をしていただかなければなりませんでしたが、該当の患者さんには二重のご苦勞をおかけしました。しかし、この間、患者の皆さんには体温測定やマスクの着用、ソーシャルディスタンス、濃厚感染者には隔離透析などのご協力をして頂き、おかげさまで、

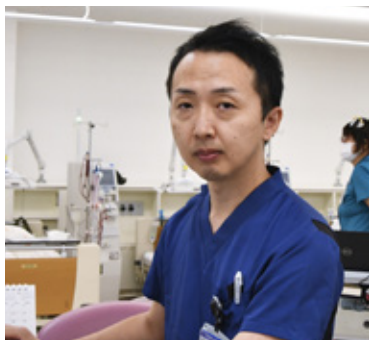
私も病院も日々アップデート

私が入職した2010年当時で、川島ホスピタルグループ(KHG)全体の患者数は数百人を超えていました。小さな透析施設から転職してきたばかりの私には、その規模の大きさに圧倒された記憶があります。規模の大きさもさることながら、当時はまだ全国的にも少数だったオンラインHDFなど最先端の技術や透析液水質基準を取り入れており、日々学びの毎日でした。しかしそれは、10年以上経った現在でも変わっておらず、KHGは毎年新しい病院としてアップデートし続けている印象です。

今後の抱負

自分にできること、技術は100%患者さんに提供し、人の心に向き合うことを忘れない。若手など周りの職員の知識・技術の向上に努めたいと思います。

臨床工学技士
藤原健司



クリニック内での感染拡大は発生せずに来られました。これも患者さんのご理解があったからと厚くお礼を申し上げます。2023年5月からは5類となりましたので、感染しても当クリニック内で抗ウイルス薬を処方し、隔離しながら透析治療を受けていただけるようになりました。

今後も感染症対策には慎重に対応したいと考えております。最後になりますが、脇町川島クリニックでは、職員一同、自己研鑽に努め、患者さんに優しく、患者さんのご理解を得ながら誠実に医療をご提供する様に努力する所存ですので今後ともよろしくお願い申し上げます。

2014

平成25年
医療法人川島会、
社会医療法人化(1月1日)
消化器内科診療開始(4月)
川島透析クリニック起工式(10月31日)



2015

平成27年
川島透析クリニック
竣工式(3月1日)



2016

平成28年
阿南川島クリニック
開院(2月1日)



2017

平成29年
川島周理事長(当時)
旭日小授章受賞

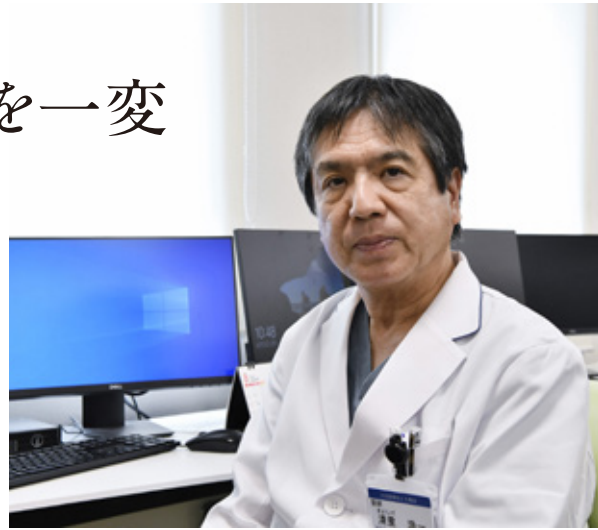


チーム制から主治医制へ サテライト院長就任は仕事を一変

鴨島川島クリニック 院長 清重 浩一

私

が救急病院の内科勤務から川島病院に転勤・入職したのは、2020年8月1日です。前職では重症肺炎や心不全の患者さんをチーム制で診ていましたが、川島病院は主治医制で、自身で突き詰めて考えて診るようになりました。内科ですが整形外科の患者さんも診るようになり、視野が広がったように思います。よく分からないことは、内科の統括診療部長や各科の部長をされている先生



方アドバイスを受けていました。入職当初に困ったことは、自分が行くべき病室や事務室が分かりづらいことでした。旧川島病院は建て増しに次ぐ建て増しで、迷路状態になっていました。よく迷子になつては、近くにいる人に尋ねていました。コ罗纳はまだ始まった頃で、KHGではあまり困ることもなく、落ち着いた鷹揚な時代でした。職員の希望とも言うべき新川島病院の建築が始まっており、1病棟の病室や廊下の窓越しに建築風景を垣間見ることができました。川島病院のモットーである「蛋白尿から腎移植まで」をより実践でき、患者さんをトータルで診ることができる新しい病院ができるの思いを強くしたものです。

2022年8月1日、川島病院のサテライトである鴨島川島クリニックの院長に就任しました。身が引き締まり、また仕事が一変し

た思いでした。透析クリニックに通院されている患者さんの訴えは多岐にわたり、総合診療科の医師の役割も果たす必要があります。鴨島川島クリニックは、吉野川市、阿波市、名西郡内の透析患者さんを積極的に受け入れています。徳島県中部の透析医療機関として地域医療に貢献して参ります。

透析患者さんの死亡数増加に対し、栄養向上・筋力増強で健康寿命の延長を目指します。また、腎臓内科専門医による腎臓内科外来では、慢性腎臓病や腹膜透析を受けている患者さんが検査と治療に受診されていますが、腎代替療法選択の充実を図るようによします。さらに腹膜透析患者さんの対応および受け入れの拡大を図るようによします。

災害対策活動としては、火災・風水害・南海トラフ巨大地震などに対する訓練を定期的に実施します。医療事故防止対策として



令和5年
住宅型有料老人ホーム
シルバーハイツ飛鳥開設(2月1日)

令和4年
医療法人さくら診療所
川島ホスピタルグループに



2021
令和3年
川島病院
新築落成



2018
平成30年
藍住川島クリニック
開院(6月18日)



2017
平成29年
あすか保育所リニューアル

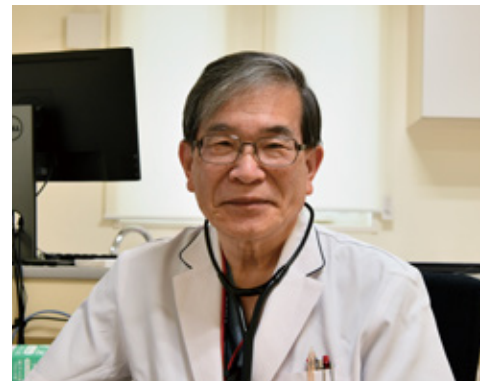
30 年間勤務した国立病院
機構東徳島医療センター

を定年退職し、川島会に入職したのは2016年の4月1日でした。前職の東徳島医療センターでは、長期にわたり勤務して来たため、仕事の内容も、ほぼ体にしみこんでおり、平穏な時間が過ぎていくような感覚がありました。国立病院機構という新たな組織に移ったとはいえ、巨大な護送船団方式の組織ということもあり、改革はゆっくり進むのだろうという感覚は否めませんでした。さて川島会に入職して感じたのは、民間病院として厳しい環境下で、スピーディな意思決定と、バイタリティーを武器に実績を上げるために職員全員が努力していることから醸し出される熱気でした。それらの雰囲気の中に埋没することなく自分の持てる力を発揮するために何をすればよいかを考えました。このときサテライト施設としての藍住川島クリニックの開院が予定されており、藍住への就任を打診されていました。藍住に赴任するとすれば、医師一人で透析部門を診なければなりません。東徳島時代からある程度透析に関わって

戸惑いながら、 自らを叱咤激励

藍住川島クリニック 院長 長瀬 教夫

フト、火、木、土は午前の1シフトと増加してきました。5年の間に大きなトラブルもなく順調に経過してこれたのは、藍住のスタッフを始め、川島会の全職員の協力のおかげだと思っています。また一般外来では、専門とする糖尿病や、循環器の患者さんを中心に、診療をさせていただいています。その場ですぐ検査結果の出ないクリニックの診療スタイルに戸惑いながらもなんとかますますの対応



が出来るようになってきました。しかしクリニックで出来る処置は限られており、早期に川島病院をはじめとする他施設に転送して、良好な経過が得られるように心がけています。この点に関しては多くの他施設の方々に迷惑をかけていると思いますが、ご容赦ください。今はまだ二杯、一杯のところが、ひたすら前を見て走り続けていますが、心に余裕がなければ他人に優しくすることはできません。少し周囲に目配りが出来るように心に余裕を持って日々の診療に当たりたいと思っています。今後とも、ご協力をよろしくお願い致します。

私も病院も日々アップデート

入職当初は新型コロナウイルス感染症がやや落ち着いていた頃とは言え、まだまだ感染対策には予断を許さない状況であったと思います。そんな中、職員の皆さんは気を抜くことなく一致団結し、感染対策を徹底して怠らない姿勢が印象的でした。

川島会での抱負

川島会では初めての言語聴覚士ということですが、程よいプレッシャーと緊張感を持ち、これまでの様々な経験を活かして患者さんの心に寄り添い、QOL向上のお手伝いをしたいと思っています。



言語聴覚士
岩田亮

は、医療安全管理体制を整備しています。透析中の抜針事故防止対策の強化を図ります。また、透析中の患者さんの急変にも備えています。感染症対策として、IC T活動や種々の感染症ワクチン接種なども積極的に推進しています。

スタッフの教育・研究活動の強化と支援も重要と考えます。院内、院外の研修や講習への積極的参加を促し、日頃の研究成果を日常臨床に生かすことを推奨しています。能率良く働ける環境整備と連携強化により、働き甲斐のある職場環境の確保を図ります。

患者さんと御家族との会話を大切にし、できる限り意向に添えるような医療を提供できるように、スタッフ一同連携して努力していく所存です。

多くの方々に助けられ これからも変化を続けていきます

川島病院 院長

西内 健

1997年入職

私は、医療法人川島会が循環器専門のクリニックを併設するということが、1997年に川島病院に入職いたしました。その頃は、川島病院は「旧川島病院1号館」に外来、透析室と入院病室などすべてがあり、66床の病院として運営されておりました。常勤医は川島院長、水口副院長、水口隆先生、川原先生がいらっしやいました。透析医療と結石破碎などの泌尿器科の専門病院でした。

川島循環器クリニック開院

1998年6月に、ケアハウス飛鳥（1996年開設）と川島病院の間に新築が完成し「川島循環器クリニック」を開院いたしました。これが旧川島病院3号館、現在の川島透析クリニック・シルバーハイツ飛鳥になっている建物です。開院祝賀会には故

当時の設備など

川島循環器クリニックは19床の有床診療所でしたが、心臓カテーテル室（写真1）やCCUも有し、冠動脈カテーテル治療や急性心筋梗塞の対応も行っておりました。写真1を見ますと、当時はカテ室透視モニターがブラウン管であったことに驚きますが、もちろん電子カルテやPACSはありませんでした。写真の病棟詰所の風景を見ますと、看護師（当時は看護婦さん）のユニフォームも隔世の感があります。現在川島病院で使っている救急車は、循環器クリニック開院時に購入したものです。緊急手術が必要になった場合に備えて、人工呼吸器、IABP、PCPS装着患者を搬送できるよう救急車内のレイアウトに苦労をしました。その頃、川島病院と川島循環器クリニックの間には国有地である水路があり、簡易的な橋を渡して往来をしていました。その後、この国有地を購入し、用水路を埋め立て、2005年に外来・管理棟（旧川島病院2号館）を増築いたしました。また、川島病院の透析患者の増加、外来診察・検査件数の増加に対応するため2005年10月に川島循環器クリニック2階のリハビリ室を38床の透析室に改築（現川島透析クリニック）

斎藤史郎徳島大学学長、故仙谷由人衆議院議員、故香川征徳島大学教授をはじめ、今懐かしい多くの先生方にもご出席いただきました。開院時の常勤医師は私と木村建彦医師に加え、徳島大学第1内科から藤村光則医師と荒木（加藤）みどり医師のお二人の大学院生が週3日ずつ勤務という体制でスタートしました。それ以外にも徳島大学第1内科からは非常勤で外来や当直など大変助けていただき、なんとか循環器救急診療が可能な体制をとることができました。当時は土曜日にも外来診療を行っており、仕事を持つ患者さんの利便性を考え、心臓カテーテル検査を土曜日にも行っておりました。平成12年5月からは、徳島大学第1内科からの人事交代で岩瀬俊医師、その後八木秀介医師も一緒に仕事をさせていただきました。

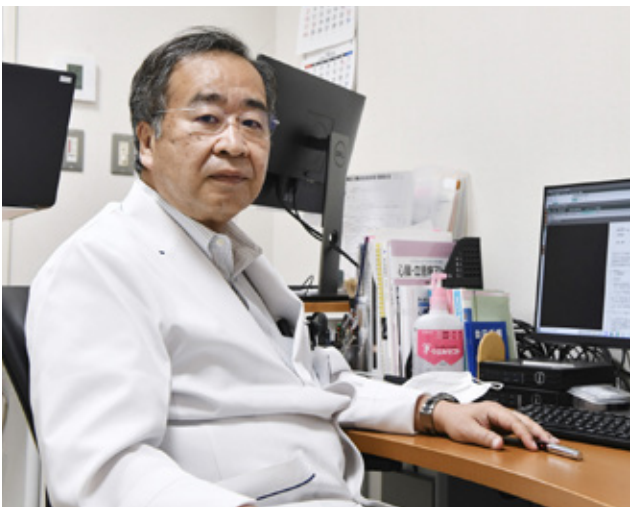
しました。2009年には循環器クリニックに当時まだ珍しい256列超多列CTを導入し、冠動脈CT検査を開始しました。

川島病院・川島循環器クリニックの統合とその後

2010年に川島病院と川島循環器クリニックの統合を行い、123床の川島病院となり、川島循環器クリニックという医療機関はなくなりました。その後も川島病院は改築を繰り返してきましたが、診療科の増加、診察・検査件数の増加に対応できなくなり、2015年3月透析ベッド160床の川島透析クリニックを新設し、病院の通院透析部門を移転しました。

以上のように増築・改築を繰り返したため、院内がわかりにくく、新設した川島透析クリニックと離れているため患者さんと職員の利便性にも問題があり、川島透析クリニックに隣接して川島病院を新築・全面移転することにいたしました。

2017年に計画をスタートしましたが、2020年から始まる新型コロナ感染



川島循環器クリニック病棟詰所
看護師のユニフォームに隔世の感があります



開院当初の心エコー室
左から 加藤、西内、木村



写真1) 川島循環器クリニック初代カテーテル室
モニターのブラウン管に注目

症の流行により新病院の設計、施工も影響を受けながら、2021年に完成、8月に移転いたしました。この間、サテライトクリニックの新築工事が次々と行われ、私が入職以来常にごくで工事をしていた印象があります。現時点で最後の工事は、旧川島病院3号館を改築しシルバーハイツ飛鳥を開設しましたが、今後も川島会は変化を続け、地域の皆様に信頼していただける医療機関、職員がいきいきと働ける職場になるよう努力したいと思っています。

Masahiro ABE

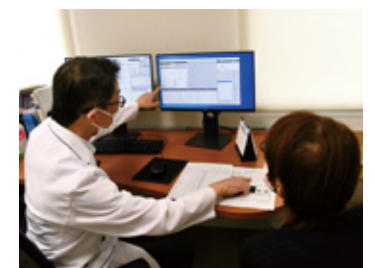
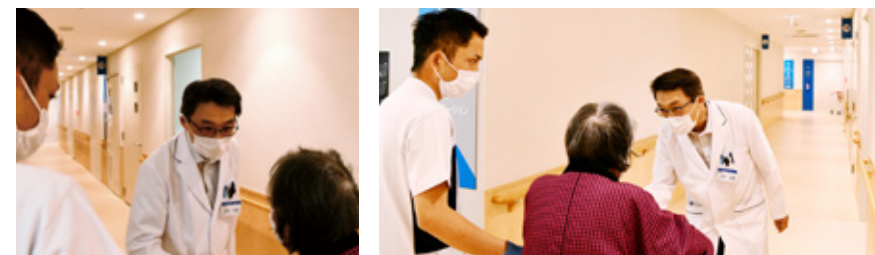


ドクター紹介 #5

血液内科主任部長

安倍 正博 先生

略歴	
昭和59年 3月	徳島大学医学部医学科卒業
昭和59年 4月	徳島大学医学部附属病院(第一内科)
昭和60年 2月	佐川町立高北国民健康保険病院 内科
昭和62年 4月	健康保険鳴門病院 内科
平成元年 10月	米国テネシー州立大学メディカルセンター(2年7ヶ月)
平成15年 4月	徳島大学病院 血液内科 科長
平成21年 2月	徳島大学病院 血液内科 病院教授
平成27年	徳島大学大学院医歯薬学研究所 血液・内分泌代謝内科学分野(旧第一内科)教授
令和5年 4月～	社会法人川島会川島病院 血液内科 主任部長、 徳島大学名誉教授・医学部客員教授
令和2年 5月～	日本骨髄学会 理事長
令和5年 9月～	国際骨髄学会 アジア・オーストラリア地区 代表理事



血液内科について教えてください

血液の中には、組織に酸素を運ぶ赤血球、感染症などから体を守る白血球、止血にかかわる血小板などの血液の細胞があります。これらの血液細胞の作られ方や働きは、炎症や感染症など様々な状態に変化しますが、多すぎたり、少なすぎると病気を引き起こします。血液内科は、身近な貧血からリンパ腫、骨髄腫や白血病などの造血器腫瘍や出血性疾患などさまざまな血液の病気の診断・治療を担当しています。この分野の治療は近年めざましく進歩し、以前は治療が難しかった病気も現在では治癒したり、長期にわたり安定した経過をとることが多くなっています。

血液内科の診療は、身体全体に影響が及ぶため、全身を診る」という診療スタイルのもと、チームワークのとれた診療体制で臓器横断的に診療します。『的確な診断と、適切な治療への柔軟な対応』が当科のモットーです。血液疾患全般を対象に、患者さんと検査・治療方針などについてよく話し合い、患者さんそれぞれに満足度の高い治療やケアを受けていただけるよう、専門性を活かしながらチーム診療で安全で質の高い医療を提供します。

川島会での抱負をお願いします

私は長い間徳島大学病院で血液内科の専門診療を行って参りました。大学病院や地域の基幹病院はその使命として、高度な医療を遂行し治療成績の向上に努めております。これらの病院では、主として急性期の患者さんや副作用の強い治療をうける患者さんを受け入れているため、増加しているご高齢の患者さんや急性期以降の患者さんへの診療への対応のためには、

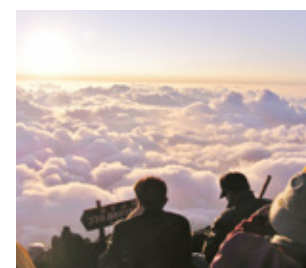
地域の医療施設と連携し、地域全体で血液疾患の患者を受け入れ診療を行うことが必要です。しかし、血液疾患を患った患者さんを受け入れる、地域の医療施設が少ないのが現状です。川島病院血液内科では、基幹医療機関とのシームレスな診療連携を構築し、血液疾患患者の受け入れや社会復帰をご支援したいと考えております。当院の特徴や長所を活かし、チーム医療に心がけ、患者さんに優しい診療が施せるよう努めて参ります。治療効果の評価には検査値の推移や生存期間などがよく用いられていますが、患者さんは毎回の検査値を心配していますが、またこの様な指標は患者さんにとって冷たい印象です。「患者さんとともに医療従事者に笑顔」というようなものを治療指標にし、患者や医療従事者にとって温かみのある診療に取り組みたいと考えています。

私はある患者団体の顧問医師をしておりますが、「難しい病気になったからこそ生きていることの大切さ、人々のありがたさを感じることができるようになった。そして自分なりの豊かな人生があることに気づき、治療を前向きに受けられるようになってきた。」と言われた患者さんのことをよく思い出します。患者さんに寄り添い、患者さんの心のエネルギーが枯渇せず、むしろ充足でき、患者さんがすこやかで豊かな人生が送れる様に、患者さんとともに歩んで行く所存です。

趣味や休日の過ごし方など教えてください

小さい頃から「山を登る」ことがなんとなく好きで、時間があればよく山を登り散策していました。そのせいか、趣味を尋ねられた時には、特

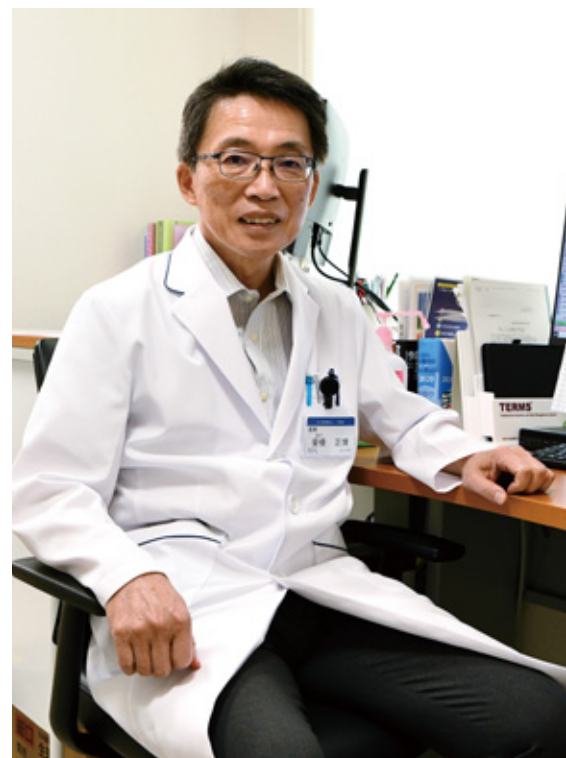
段これといった趣味もないので「山登り」と答えていました。山登りはきついのですが、自分のペースで少しずつ登ることができ、見下ろす景色は登るにつれ変わります。登るたびにそれまで見えなかった風景が見えるようになり、そして諦めなければ登れるという、なにか人生の教えるようなものだと感じています。普段は情性で生きていますが、日常の中でできるだけ自然を感じ、接する様な機会を作る様にしています。



富士山山頂



立山登山

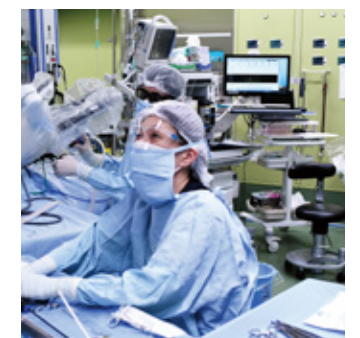


Hiroomi KANAYAMA

ドクター紹介 #6 泌尿器科主任部長 金山 博臣 先生

略歴

昭和51年	3月	徳島市立高校卒業
昭和57年	3月	徳島大学医学部医学科卒業
昭和57年	5月	徳島大学医学部附属病院泌尿器科・医員(研修医)
昭和58年	4月	高知市民病院泌尿器科・医師(研修医)
昭和59年	4月	四国がんセンター泌尿器科・医師(レジデント)
昭和60年	4月	高知赤十字病院泌尿器科・医師
昭和62年	4月	徳島市民病院泌尿器科・医師
昭和63年	4月	高知赤十字病院泌尿器科・医師
平成1年	4月	徳島大学医学部泌尿器科・助手
平成1年4月～平成3年3月		徳島大学酵素科学研究センター研究員(酵素病理学部門)
平成6年	4月	徳島大学医学部附属病院泌尿器科・講師
平成8年	3月	徳島大学医学部泌尿器科・助教授
平成11年4月～12月		テキサス大学MDアンダーソン癌センター(米国 テキサス州 ヒューストン)
平成16年	4月	Department of Cancer Biology・客員助教授
		徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 泌尿器科学分野・教授
平成27年4月～令和5年3月		徳島大学大学院医歯薬学研究部(名称変更)泌尿器科学分野・教授
令和5年	4月～	社会医療法人川島会川島病院泌尿器科・主任部長



泌尿器科について教えてください

泌尿器科は、副腎・腎・尿路・男性生殖器の各種疾患を扱う診療科です。疾患としては、排尿障害をきたす前立腺肥大症や神経因性膀胱、腎結石や尿管結石などの尿路結石症、前立腺癌・膀胱癌・腎盂尿管癌・腎細胞癌・精巣癌などの悪性腫瘍、膀胱炎・腎盂腎炎・前立腺炎など尿路性器感染症、その他、腎機能障害、女性泌尿器科疾患、男性機能障害、男性不妊、停留精巣、陰嚢水腫、真性包茎、水腎症など、色々な疾患を扱います。超音波検査やCTなどの画像検査、膀胱尿道鏡検査などによって各種疾患を診断したり、薬物療法や手術療法により治療したりと、内科的な面と外科的な面を両方持ち合わせており、診断から治療まで一貫して患者さんに対応しています。例えば、高齢男性が排尿障害を訴えて受診した場合、前立腺肥大症や前立腺癌を疑い超音波検査やPSA検査、癌が疑われる場合はMRI検査などを行います。前立腺肥大症と診断されれば薬物療法により治療しますが、症状の改善が不十分な場合は低侵襲な内視鏡手術により治療します。

川島会での抱負をお願いします

前立腺癌と診断された場合は、転移がなければ根治を目指して手術や放射線治療で治療しますが、転移がある場合はホルモン療法などの薬物療法により治療します。また、急な血尿や腰背部痛を訴えて受診した患者さんは結石を疑いCTや超音波検査をして、尿管結石と診断されれば結石破砕術や内視鏡手術による低侵襲手術により治療します。尿酸結石の場合は薬物による溶解療法を行います。このように、検査・診断から薬物療法・手術療法まで全過程で患者さんを診ています。



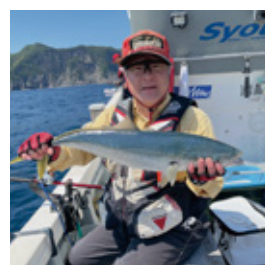
川島会は腎不全治療を柱に発展してきました。現在は川島病院・川島透析クリニックおよび鳴島・鳴門・脇町・阿南・藍住川島クリニックにおいて多くの腎不全患者の診療を行なっています。腎臓内科をはじめ、循環器内科、糖尿病内科など多くの診療科が関わっていますが、泌尿器科は腎・尿路を扱いますので、腎不全診療にも深く関わっています。一方で、泌尿器科は、尿路結石や悪性腫瘍、尿路性器感染症などにも対応しています。最近ではダビンチXiiが導入され、神田先生が着任されてからは多くのロボット支援手術を実施しています。前立腺癌に対するロボット支援前立腺全摘除術をはじめ、腎盂尿管癌に対するロボット支援腎尿管全摘除術、腎細胞癌に対するロボット支援腎部分切除術・根治的腎摘除術など実施しています。また、尿路結石症に対する体外衝撃波結石破砕術や経尿道的尿管碎石術、前立腺肥大症に対するレーザー治療や経尿道的前立腺切除術など、低侵襲手術を駆使して患者さんを治療しています。超高齢化社会を迎えて泌尿器科疾患の患者さんはますます増加しており、川島病

趣味や休日の過ごし方など教えてください

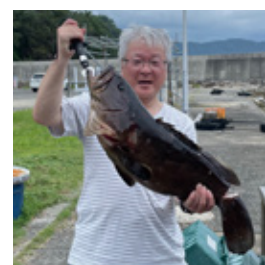
趣味としては、若い頃から色々と試してきましたが、今でも続けているのは釣りぐらいです。ゴルフも一時挑戦しましたが、ボールが思う方向に飛ばず、断念しました。というところで、休日は、天気が良ければ釣りに行くことが多いです。自然の中での釣りは心身ともにリフレッシュできます。以前はなかなか釣りに行く時間がなかったのですが、最近は余裕ができ、釣りの回数が増えています。釣りと言っても色々ありますが、一番好きなのは磯釣りです。秋から冬にかけてはグレ釣りが中心で、徳島県南の穴喰に釣行します。若い頃は東シナ海の男女群島や、愛媛県や高知県にも遠征しましたが、歳をとってくると日帰りで行けるようになります。グレの最大は男女群島では58cm、穴喰では49cmです。夏は暑いのですが、シブダイというあまり知られていない高級魚が釣れます。色々な外道も釣れ、74cm・5.8kgのクエが釣れたこともあります。また、船釣りにも行きます。イサギやカツオ、タイやハマチ、アジなどが釣れます。いつも釣れるわけではないのですが、釣った魚は美味しくいただきます。自分で捌いて、刺身を作ったり、塩焼きにしたり、天ぷらや唐揚げ、ムニエルやカルパッチョなど洋風にすることもあります。友人達と釣った魚で宴会をすることもあります。体力が続く限り釣りを楽しみたいと思っています。



釣った魚で宴会



日和佐・船釣り



穴喰・クエ(74cm, 5.8Kg)



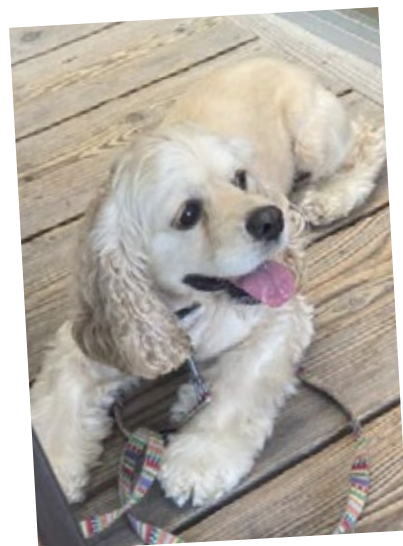
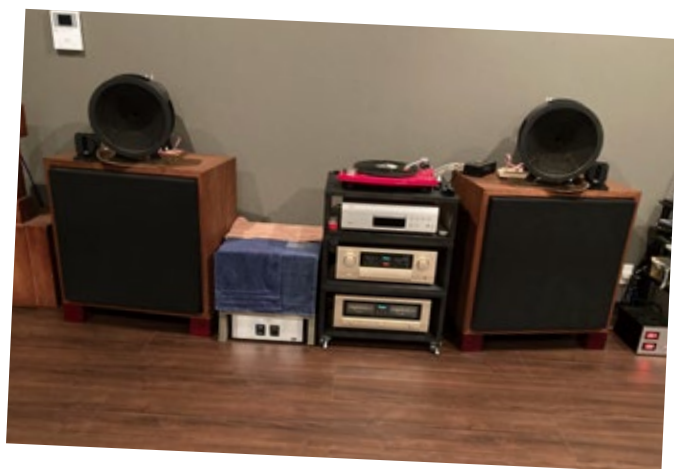
穴喰・磯釣り

坂東 弘康 医師

オーディオ・ビジュアルの進歩

団塊の世代に続く我々の時代は、オーディオ・ブームの真っ盛りでした。多くのメーカーが参入し、専門店も沢山ありました。しかし、CDの登場とともに音質に関しての熱意は徐々に低下して行ったように思います。最近になりレコード(アナログディスク)が再評価され多くのレコードプレーヤーが発売されるようになりましたが、従来の製品より音質が向上したものはほとんど無いようです。マーケットが縮小し、私の使用しているレコードプレーヤーのメーカー(ドイツ)も日本から撤退してしまいました。幸い北海道のガレージメーカーが互換性のある部品を製造していましたので、何とか動いています。スピーカーシステムも毎年のように新製品が出ていますが、コストの問題もあり買い替えは見合わせています。現在のピュアオーディオのスピーカーは45年前のものです。高校の後輩がスピーカーユニットのガレージメーカーを設立したので、何組かのサブシステムを製作して楽しんでいます。

ビジュアルに関しては明らかに進歩しています。30年前に導入した3極管のプロジェクターは大きくて重く大変でした。液晶のプロジェクターはコンパクトで軽く、画質も優れたものでした。その後、4Kに進歩して、昨年には普及クラスにもレーザー光源の製品が誕生しました。人間の視力は8Kまでとのことですので、進歩もそろそろ限界かもしれません。



井上 有貴子 外来クラーク 私の癒し、「メリー」

アメリカンコッカースパニエルの女の子・メリーです。わんわん物語のレディちゃんのモデルとなった犬種です。2年前にペットショップで出会い、娘の強い希望もあって自宅に迎えることになりました。当時は3kgだったのが、現在は大きく育ち12kgになりました。誰にでも尻尾を振って近づいていく人懐っこい性格です。冬は暖かく良い抱き枕になります。毎日可愛いメリーに癒されています。



近藤 由紀子 外来クラーク

読書に浸る

面白い!と思う本はどんどん読み進めるので、頭の中が半分物語の中に入り込む不思議な感覚になります。乃南アサは学生の頃に会った大好きな作家で、最近「チーム・オペリベリ」という本を読みました。フィクションですが実在の人物を基にした北海道開拓の物語で、不便な極寒の地での暮らしが描かれます。乃南アサは人の想いを表現するのが本当に巧くて、他にもお勧めの本は沢山あります。秋の夜長に読書はいかがでしょう。



徳野 健市 医療支援課長

ぼっちサイクリングを満喫

運動不足解消のために始めた自転車通勤、今は車に変わりましたが、趣味でサイクリングを続けています。サイクリスト定番のしまなみ海道、瀬戸内海島めぐり、四国カルスト、自宅から自走と輪行で京都の東寺へ。暑い日を選び、寒い日を選び、晴れの日だけの自由気ままなぼっちサイクリング、自然の中で景色や香りを楽しんでいます。



藤井 詩媛 6階病棟看護師

K-POP愛!韓国語学習で広がる楽しみ

わたしは、中学校の時から韓流とK-popが好きで社会人になってから、毎年韓国に旅行に行くようになりました。インスタグラマーのJさんを通して韓国の化粧品やスキンケア・美容にも興味が沸きました。ジョンセンムルにもどっぷりとはまりました。

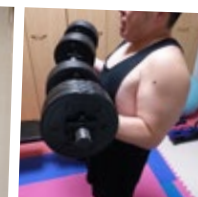
急にコロナが流行り旅行が難しくなったので、家でいる時間が増え、韓国語を習ってみようと思いました。ドラマを字幕なしで理解できたらカッコいいなと思って今も勉強しています。先生が韓国人なので綺麗な発音・話し方を教えて頂ける上に韓国の文化と習慣・笑えるエピソードも聞けて楽しいです。



道脇 宏行 臨床工学部 部長

ハーレーとキャンプ愛\乾杯／

休日は家族や友人とキャンプやツーリングを楽しんでいます。四季を味わい、ビールを味わう!大自然は愛しさとせつなさで心強さを教えてください。今度、日本バーベキュー協会考案の検定試験を受け、スマートバーベキューマスターの資格取得を友人と目指します。



若山 憲市 リハビリテーション

筋肉は私を救う

ボディービルダーへの憧れ…、30年以上続いている頭痛の緩和…、モテたい欲望…、少しずつ続けてきた筋トレ。途中、懸垂マシンが洋服掛けになった時もありましたが、やっぱり憧れは捨てられなく、ようやく効果がでてきたのが頭痛の緩和…。今はこれを活かして職域へ…。ボディービルダーの肉体はまだまだほど遠い…。夜中のあれを止めたい…。

職員 の 素顔

True face of STAFF





1F デイサービス

2F 透析室

3F・4F 居室



住宅型有料老人ホーム シルバーハイツ飛鳥

「透析患者さんから厚い信頼で」



透

析患者さん主体（血液透析・腹膜透析）の施設です。2023年2月1日に開設しました。

社会医療法人川島会が事業主体となり、透析患者さんに寄り添い見守り、安心・安全で快適な生活を送っていただけます。

1階はデイサービス、2階は透析室、3階（15室）4階（15室）は居室となっており、同じ建物内に川島透析クリニック（透析室）が併設されており、エレベーター移動で透析通院が可能です。従って介護タクシー代が不要で、介護保険の利用を他の身体介護や生活介助（掃除や洗濯）に利用できます。社会医療法人川島会が運営するものであるため協力医療機関である川島病院／川島透析クリニックとの密接な連携が担保されています。

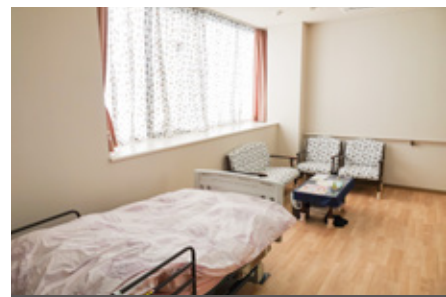
楽しい食事と定期的な医療相談日を設け、相談をおこなっています。

また、入居者さんによる個々に介護保険による介護サービスの契約・利用も可能です。



シルバーハイツ飛鳥
施設長
原 雅子

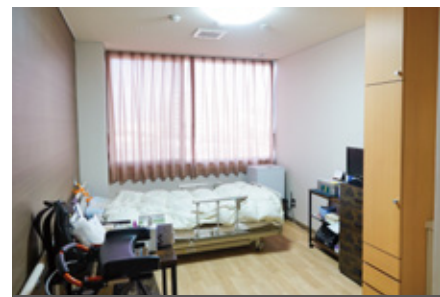
施設内のイメージ



418号室



403号室



301号室



312号室



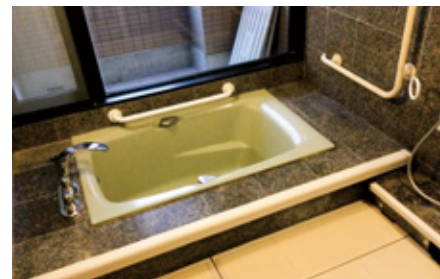
318号室



食堂



浴室



自費サービスについて

- 介護保険による介護サービスが利用できます。
介護保険による介護サービス利用の上限を超えた場合には、希望にて下記の自費サービスの利用ができます。
自費サービス内容：食事介助、おむつ交換、居室清掃、洗濯代行等
- 洗濯・乾燥機使用料、おむつ代、理美容師による理美容サービスは実費となります。



特徴

- 4F 居室
- 3F 居室
- 2F 透析室
- 1F デイサービス



2F透析室

同じ建物内の2階に川島透析クリニック(透析室)が併設されており、エレベーター移動で透析通院が可能です。(介護タクシー代が不要で、介護保険の利用を他の身体介護や生活介助(掃除や洗濯)に利用できます)



社会医療法人川島会が運営するものであるため、(協力医療機関)との密接な連携が担保されています。
(協力医療機関)
●川島病院 ●川島透析クリニック



食事は透析食に準じて栄養管理された食事が提供されます。



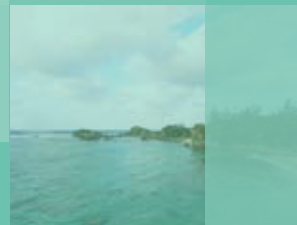
入居者さん個々に介護保険による介護サービスの契約・利用が可能です。



無料で定期的に医療相談日を設け、相談を受け付けます。

2022-2023 Photo Report

- 健康・福祉フェスタ
- 慰安旅行
・沖縄・広島・愛媛・USJ
- バーベキュー大会
- 藤倉みきさん TEAM JAPANで銀メダル
- 部活・サークル紹介



2023年度 事業計画 川島ホスピタルグループ



1へき地医療の支援

- ①引き続きへき地診療所に医師派遣を行いへき地における医師確保に貢献する。

2診療内容の充実

- ①透析患者数の停滞が予想される中で診療科目の拡大に努める。
- ②診療圏の拡大などにより外来診療を強化する。
- ③有料老人ホーム（シルバーハイツ飛鳥）及びケアハウスあすか入居者の人工透析治療を行う患者に対し、川島透析クリニックにおいて適切な医療を提供する。
- ④各分野で、より専門性の高い診療を提供する。

3透析患者の確保

- ①通院支援を強化し、外来透析患者の利便性の向上に努める。
- ②有料老人ホーム（シルバーハイツ飛鳥）への入居を案内し、外来透析患者を確保する。

4歯科診療による患者ケアの充実化

- ①全身疾患を有する患者の歯科治療を実施する。
- ②入院患者の口腔ケアと摂食嚥下障害への対応を行う。
- ③周術期等における患者の口腔内管理を実施する。

5旧川島病院の1・2号館の再利用計画の推進

- ①駐車場確保を含め建物の再利用計画を策定し、計画を推進する。

6川島病院の健診事業の強化

7職員数の確保

- ①円滑な業務執行のため適切な職員数の確保を行う。

8災害対策活動、医療事故防止活動の積極的推進

- ①透析患者の高齢化に伴い、増加が想定される透析中の抜針事故防止対策の強化を図る。
- ②医療事故防止のため、勉強会の開催等を通じて職員の技術能力の向上を図る。
- ③大規模震災を想定しての定期的対応訓練及び災害に備えての準備を実施する。
- ④各種手順やマニュアルの周知徹底及び実行を促進する。
- ⑤対策月間設定等による全職員に対する啓発、教育を強化し充実させる。
- ⑥震災対策会議を開催し内容を二層充実させる。

9教育・研究活動の強化と支援

- ①新入職員、中堅職員、途中入職職員への教育内容を充実させる。
- ②KHGと関連のある分野の全国規模の学会、研究会への積極的参加を奨励し支援する。
- ③KHGと関連のある分野の研修会、講演会、セミナーへの参加を奨励する。
- ④院内学習会を定期的に実施し、部署ごとの勉強会、抄読会を頻繁に実施する。
- ⑤部署目標、委員会目標の中間及び年度末フォローによる達成度評価を行い、改善のための指導を実施する。
- ⑥部署、委員会における研究及び活動テーマ

発表会を実施する。

- ⑦業務上有用な資格の積極的取得の推進と支援を実施する。

10地域社会との交流や関連施設との連携の強化

- ①健康福祉フェスタを実施し内容を二層充実させる。
- ②震災対策会議を開催し内容を二層充実させる。（再掲）
- ③広報誌を継続発行し内容を二層充実させる。
- ④ホームページの内容を充実させタイムリーに更新する。

11新型コロナウイルスの対応を行う

- 12病院、クリニックで、具体的な2023年度事業計画を策定する



第23回 川島ホスピタルグループ 健康・福祉フェスタ

2023.10.22



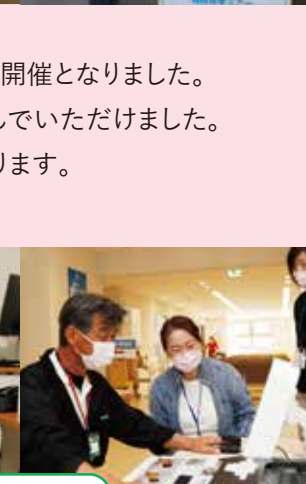
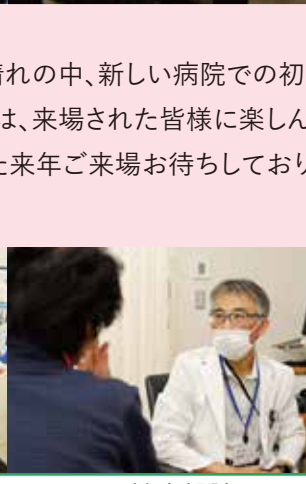
阿波踊り(娯茶平)



こどもお仕事体験



AED講習・救急処置 模擬演習



素晴らしい秋晴れの中、新しい病院での初開催となりました。
院内外での催しは、来場された皆様に楽しんでいただきました。
また来年ご来場お待ちしております。

健康相談



2 023年10月8日から2泊3日の広島、愛媛の慰安旅行に参加しました。

初日、呉の軍艦めぐりから始まり、2日目の原爆ドーム・平和公園・宮島、3日目の大三島宮の大山祇神社・下田水港急流観潮船と非常に盛沢山で3日もと船に乗るという珍しい旅程でした。

呉では観覧船で数々の目的を持った軍艦や潜水艦を見る。ことができ想像を超える隻数に驚きました。

また造船所も見ることができ、造船中の世界最大級のコンテナ船を見たときは圧倒されました。

原爆ドームや平和公園では戦争の悲惨さを実感し、平和のありがたさを感じる貴重な時間になりました。

宮島では、厳島神社や商店街を散策しました。到着した時間がちょうど干潮で鳥居まで歩くことができたのが非常に良かったです。また揚げもみじや焼き牡蠣など食べ物が美味しかったです。

(余談ですが、鳥居は地面に固定されていないことを知っていますか？私はなんで流されないのかと不思議に思いましたが、屋根の部分にも中に石を詰めたりしてとても重たく作られているそうですよ。)

大山祇神社では樹齢2,600年の御神木や刀などの国宝を見ることができました。

広島や愛媛は近隣の県ですが、まだまだ知らない観光名所があり、また家族と行きたいなと感じました。

普段あまり話すことの無い他部署の方とも親睦を図ることができ、また自分身のリフレッシュができる大変有意義な慰安旅行となりました。

HIROSHIMA

広島・愛媛
2泊3日

EHIME



川 島会では4年ぶり、私にと
ては初めての慰安旅行に参加
しました！

沖繩に向かう飛行機から見える海も綺
麗な青色で、到着する前からワクワク
が止まりませんでした。

さすが沖繩、到着するとやっぱり暑かつ
たです。

台湾出身のバスガイドさんに案内して
もらいながら首里城・万座毛・美ら海
水族館・古宇利大橋・アメリカンビレ
ジ・国際通り おきなわワールドなど3
泊4日の短い期間に予定をいっぱい詰
め込んだ旅でした。

その中でも一番印象に残っているのは
3日目です。

1日フリーだったので、オープンカーを
借りてドライブをしながら海に向か
い、シーカヤックとシュノーケリングを
しました。当日は風のせいで波が高く、
予定していた青の洞窟には行けませ
んでしたが、綺麗な海・魚を見ることが
できました。

次回沖繩に行った際には、絶対に
リベンジしたいと思います。

用度課／松浦恵



沖縄 3泊4日



BBO

2023.7.23



バーベキュー大会

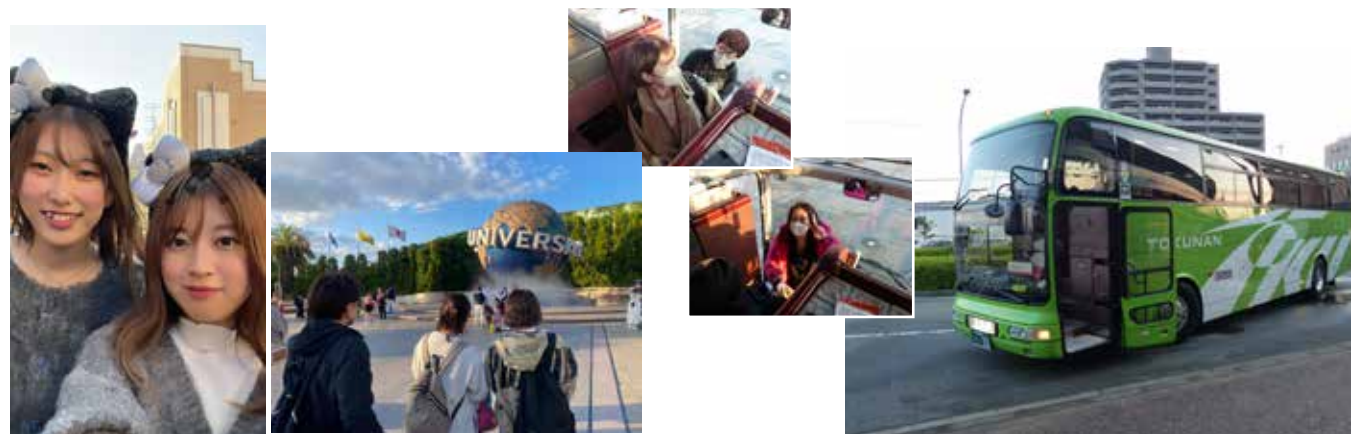
長

いコロナ禍が終息を迎えつつある今夏、待ちになった川島バーベキュー大会が復活しました。コロナ禍以前、川島病院では職員とその家族らが親睦を深めることを目的とし、毎年バーベキュー大会を開催していました。コロナ蔓延により2019年を最後に中止となっておりましたが、4年ぶりとなる今年、やっと開催することができました。参加者は大人74名、小中学生12名、幼児7名の合計93名の大人数となりました。当日は晴天にもめぐまれ、久しぶりの親睦の場となり飲み物片手に終始賑わってありました。日頃は関わることが少ない職種同士、よく冷えたお酒やジュース、美味しい焼き肉をお供にいつも以上に会話が弾んでいました。沢山食べた後は、会長とのじゃんけん大会やスイカ割りなど、子供から大人まで存分に楽しむことができました。

看護師／戸田 己紀



[慰安旅行]



UNIVERSAL STUDIOS JAPAN

日帰り旅行
USJ

2

023年10月15日の天気は生憎の雨と予報されていましたが、我々26名の日頃の行いがどうなのかわかりませんが晴れとなりました。入場後は、各々好きなエリアへアトラクションなど楽しむことができました。日々の慰安旅行でもあり、新しく入った職員も楽しめた日帰り旅行となりました。英気を養い、明日からの仕事も頑張りたいと意気込んでいます！

リハビリテーション室／若山 憲市



部活・サークル紹介

川島会野球サークル

徳島市島田河川敷グラウンド(4月～12月)月2回、曜日はランダム、19時～21時で行っています。内容はキャッチボール、ノック、フリーバッティング、練習試合などをし、野球を通じて川島会職員との親睦、健康増進や運動不足解消が目的で野球大会などには参加せず、和気あいあいと楽しく笑いあいの野球を目指して活動しています。川島会職員だけで紅白戦をしたいのですが人数不足により出来ない為、たまに知り合いの野球チームを呼んだりしてハンディありの練習試合をしています。昔野球をしていた方、未経験の方、ご家族の方など年齢、性別を問わず野球に興味のある方は是非、楽しく笑いあり、初心者向けの野球なので一緒にしませんか(^ ^)

訪問介護員／川原 淳



川島会バレーボール部

川島会バレーボール部は2015年6月より職員の運動不足解消とコミュニケーション向上を目的として結成されました。2022年の冬ごろから活動を再開していましたが再度コロナのおりを受けて休止しておりました。2023年の8月より再度活動が再開になり、場所もとくぎんトモニアリーナに変更になり現在は月1回程度活動しております。コロナ明けからは参加人数があまりそろわず思うように活動できておりませんが、集まった人数で楽しくバレーをしています。

私は全くの素人で参加しましたが、先に参加されていた方から温かく教えていただいております。私のような初心者でも楽しく運動できています。「少し体を動かしたいな。」と思ったら「運動したいけど…」という方はぜひ一緒に運動しませんか?お待ちしております!!

看護師／柳 萬 大希



バドミントンサークル

とくぎんトモニアリーナ(徳島市立体育館)で月1回程度バドミントンサークルを開催しています。日々のストレス発散と運動不足を解消し、職種や年代を超えて親睦を深めることを目的として「みんなで楽しく、和気あいあい」をモットーに、バドミントンを楽しんでいます。メンバーのほぼ全員が未経験者なので、初心者の方でも気軽にプレーしてもらえる所がバドミントンサークルの強みだと思っています。正式なルールを覚える事と、開催回数を増やす事を目標に、もっとたくさんの職員と交流を深めていきたいです。

臨床工学技士／濱田 守



CONGRATULATIONS MIKI FUJIKURA

歯科衛生士 藤倉みきさん

TEAM JAPANで感謝の銀メダル

9月23日～10月8日に中国 杭州で開催された第19回アジア競技大会に出場致しました。結果はローラースケート女子アーティスティックスケーティングで銀メダルを獲得しました。アジア競技大会は4年に1回開催され、アジア版オリンピックと言われています。ローラースケートはオリンピック種目に選出されたことがないため、このアジア競技大会は私が出場した大会の中で最大規模のものとなりました。支給されたウェアには五輪マークが刺繍されており、それを着るたびにこれまでの国際大会とは少し違う、より引き締まる気持ちになりました。ローラースケートのアーティスティックはフィギュアスケートと類似しており、ショートプログラムとロングプログラムの合計点で競います。ロングプログラムでは大きなミスなく、曲の表現を楽しみながら演技ができ、1位の点数を取ることができましたが、ショートプログラムとの合計で2位となりました。金メダルを目指していたので少し悔しい気持ちもありますが、TEAM JAPANの一員としてメダルを獲得できたことを嬉しく思います。帰国後はこれまでに無いほど多くの方々から祝福して頂き、このメダルの重みをひしひしと感じています。川島会長、水口理事長、西内院長をはじめ、職員の方々にもたくさんお祝いの言葉を頂き大変嬉しく思います。応援してくださった方々に感謝申し上げます。



※10月8日付け徳島新聞より



川島ホスピタルグループ
2022～2023年 資料編

- プロフィール
- 医師・職員取得資格
- 医師・職員院外団体等役職
- 職員数
- 座長、司会等
- 診療統計等



WELCOME PARTY for NEW EMPLOYEES



2023.6.25



4年ぶりに歓迎会が開催されました。
新入職者の紹介を4年分行う事は最初で最後でしょう。
感染対策に関するアナウンスもあり、なにか新鮮な歓迎会でした。



鴨島川島クリニックのプロフィール(2023年10月1日現在)	
■ 標榜科目	
腎臓内科、血液透析内科	
■ 指定	
保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、特定健診、身体障害者福祉法指定	
■ 届出事項	

腎代替療法指導管理料、がん治療連携指導料、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料

鳴門川島クリニックのプロフィール(2023年10月1日現在)	
■ 標榜科目	
内科、人工透析内科	
■ 指定	
保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、身体障害者福祉法指定	
■ 届出事項	

がん治療連携指導料、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料

脇町川島クリニックのプロフィール(2023年10月1日現在)	
■ 標榜科目	
人工透析内科、糖尿病内科	
■ 指定	
保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、身体障害者福祉法指定	
■ 届出事項	

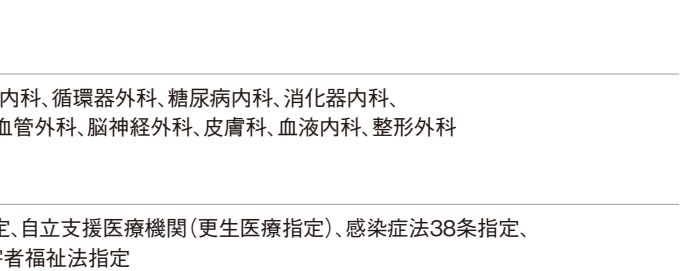
在宅血液透析指導管理料、がん治療連携指導料、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料

阿南川島クリニックのプロフィール(2023年10月1日現在)	
■ 標榜科目	
内科、血液透析内科、腎臓内科	
■ 指定	
保険医療機関、自立支援医療機関(更生医療指定)、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、特定健診、身体障害者福祉法指定	
■ 届出事項	

透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料

藍住川島クリニックのプロフィール(2023年10月1日現在)	
■ 標榜科目	
血液透析内科、内科、循環器内科、糖尿病内科、泌尿器科、腎臓内科、外科、消化器内科、胃腸内科、肛門外科	
■ 指定	
保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、身体障害者福祉法指定	
■ 届出事項	

人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算1、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、がん治療連携指導料、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料

川島病院のプロフィール(2023年10月1日現在)	
■ 標榜科目	
内科、腎臓内科(人工透析・腎移植)、泌尿器科(人工透析・腎移植)、循環器内科、循環器外科、糖尿病内科、消化器内科、呼吸器内科、放射線科、リハビリテーション科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、血管外科、脳神経外科、皮膚科、血液内科、整形外科	
■ 指定	
保険医療機関、救急告示、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、労災保険指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、DPC対象、介護保険法、身体障害者福祉法指定	
■ 届出事項	

初診料(歯科)の注1に掲げる基準、歯科外来診療環境体制加算1、急性期一般入院基本料4、救急医療管理加算、診療録管理体制加算1、医師事務作業補助体制加算1 区分20:1、急性期看護補助体制加算25対1(看護補助者5割以上)夜間急性期看護補助体制加算30対1、夜間看護体制加算、療養環境加算、無菌治療室管理加算2、栄養サポートチーム加算、医療安全対策加算 区分2、医療安全対策地域連携加算2、感染対策向上加算2／連携強化加算、病棟薬剤業務実施加算1、データ提出加算2／データ評価加算、入退院支援加算2／入院時支援加算、認知症ケア加算(加算3)、せん妄ハイリスク患者ケア加算、短期滞在手術等基本料1、入院時食事療養／生活療養(1)、糖尿病合併症管理料、移植後患者指導管理料(臓器移植後)、糖尿病透析予防指導管理料、腎代替療法指導管理料、下肢創傷処置管理料、夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算、外来腫瘍化学療法診療料2、ニコチン依存症管理料、がん治療連携指導料、薬剤管理指導料、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料、医療機器安全管理料1、歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料、歯科疾患在宅療養管理料の注4に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料、在宅血液透析指導管理料、在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算、持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定、持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)、抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)、遺伝学的検査、有床歯嚙嚼機能検査1の口及び咀嚼能力検査、検体検査管理加算(I)、検体検査管理加算(II)、時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト、ヘッドアップティルト試験、画像診断管理加算2、CT撮影及びMRI撮影、冠動脈CT撮影加算、外来化学療法加算2、心臓MRI撮影加算、無菌製剤処理科、心大血管疾患リハビリテーション料(I)、脳血管疾患等リハビリテーション料(II)、運動器リハビリテーション料(I)、呼吸器リハビリテーション料(I)、歯科口腔リハビリテーション料2、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフレシス療法、導入期加算3及び腎代替療法実績加算、医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術(胃瘻造設術)、CAD／CAM冠、経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)、大動脈バルーンパンピング(IABP法)、体外衝撃波胆石破碎術、体外衝撃波腎尿管結石破碎術、移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法、腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)、腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)、同種死体腎移植術、生体腎移植術、腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)、輸血管理料Ⅱ、輸血適正使用加算、麻酔管理料(I)、クラウン・ブリッジ維持管理料

■施設認定

日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本透析医学会認定施設、日本腎臓学会研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本高血圧学会専門医認定施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、日本腹膜透析医学会教育研修医療機関、日本アフレシス学会認定施設、浅大腿動脈ステントグラフト実施設、下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施設、日本動脈硬化学会専門医教育病院、日本透析アクセス医学会研修施設、日本甲状腺学会認定専門施設、日本腎臓学会認定腎臓移植施設

■その他

地域連携室

川島透析クリニックのプロフィール(2023年10月1日現在)	
■ 標榜科目	
血液透析内科	
■ 指定	
保険医療機関、生活保護法、原子爆弾被爆者指定、自立支援医療機関(更生医療指定)、労災保険指定、感染症法38条指定、難病医療指定／小児慢性特定疾患指定、身体障害者福祉法指定	
■ 届出事項	

がん治療連携指導料、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算、人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)、下肢末梢動脈疾患指導管理加算、導入期加算2及び腎代替療法実績加算、検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料

医師	田代 学	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本透析医学会透析専門医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析アクセス医学会 VA血管内治療認定医、日本腹膜透析医学会認定医、日本抗加齢医学会専門医、臨床研修指導医、日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士
医師	島 久登	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本透析医学会透析専門医、日本透析医学会指導医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本腎臓学会認定指導医、日本腹膜透析医学会認定医、日本高血圧学会指導医、日本高血圧学会専門医、日本消化管学会胃腸科認定医、日本動脈硬化学会認定動脈硬化専門医、日本動脈硬化学会認定動脈硬化専門医制度研修指導医、日本アフレルシス学会認定血漿交換療法専門医、日本化学療法学会抗菌化学療法認定医、インфекションコントロールドクター（ICD）、多発性嚢胞腎協会PKD認定医、臨床研修指導医
医師	三好 人正	日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本肝臓学会肝臓専門医、臨床研修指導医
医師	高橋 千比呂	日本専門医機構認定内科専門医
看護師	西分 延代	日本腹膜透析医学会指導看護師
看護師	平野 春美	日本腹膜透析医学会指導看護師、認定看護管理者教育セカンドレベル
看護師	藤田 都慕	医療安全管理者
看護師	松田 幸子	インターベンション、エキスパートナース
看護師	秋山 和美	レシピエント移植コーディネーター
看護師	戸田 己記	3学会合同呼吸療法認定士、日本糖尿病療養指導士、日本腹膜透析医学会指導看護師、腎臓病療養指導士、日本認知症ケア学会認定認知症ケア専門士
看護師	西川 雅美	レシピエント移植コーディネーター
看護師	笹田 真紀	日本腹膜透析医学会指導看護師
看護師	西谷 千代子	日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士、腎臓病療養指導士
看護師	三宅 直美	日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士、慢性腎臓病療養指導看護師
看護師	数藤 ゆかり	日本腹膜透析医学会指導看護師
看護師	森浦 弥生	3学会合同呼吸療法認定士
看護師	白井 美江	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	加藤 美佳	日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士
看護師	岡本 真紀	日本腹膜透析医学会指導看護師
看護師	数藤 康代	日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士、腎臓病療養指導士、慢性腎臓病療養指導看護師
看護師	楮山 祐子	感染管理認定看護師
看護師	北洲 梓	医療安全管理者、徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士
看護師	斎田 智未	日本腹膜透析医学会指導看護師
看護師	前田 薫子	徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士
看護師	佐々木 美和	日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士
看護師	吉見 俊司	日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士
看護師	亀川 佐江	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	有木 直美	日本腹膜透析医学会指導看護師
看護師	小倉 加代子	日本糖尿病療養指導士、日本腹膜透析医学会指導看護師
看護師	三好 友美	日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士、徳島県糖尿病療養指導士
看護師	佐藤 裕子	日本糖尿病療養指導士、日本腹膜透析医学会指導看護師
看護師	福壽 悦子	日本糖尿病療養指導士
看護師	近藤 郁	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	日根 千鶴	日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士
看護師	酒井 紘子	日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士
看護師	小谷 明子	日本糖尿病療養指導士、心不全療養指導士
看護師	宮下 めぐみ	日本腹膜透析医学会指導看護師
看護師	奥谷 晴美	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	楨納 幸子	日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士
看護師	森 和代	日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士
看護師	常陸 真由美	医療安全管理者
看護師	藤川 みゆき	徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士
看護師	谷澤 恵子	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	木内 雄子	日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士
看護師	尾方 恵美	徳島県糖尿病療養指導士

医師	川島 周	日本内科学会認定内科医、日本透析医学会透析専門医
医師	水口 潤	日本内科学会認定内科医、日本透析医学会透析専門医、日本透析医学会指導医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本腎臓学会認定指導医、日本臨床腎移植学会腎移植認定医、日本移植学会移植認定医、日本腹膜透析医学会認定医
医師	西内 健	日本内科学会認定内科医、日本高血圧学会指導医、日本高血圧学会専門医、日本循環器学会循環器専門医
医師	本藤 秀樹	日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医、臨床研修指導医
医師	西谷 真明	日本透析医学会透析専門医、日本泌尿器科学会泌尿器科指導医、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医
医師	岡田 一義	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本透析医学会透析専門医、日本透析医学会指導医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本腎臓学会認定指導医、日本腹膜透析医学会認定医、臨床研修指導医、日本腎代替療法医専門職推進協会、腎代替療法専門指導士
医師	岩坂 尚仁	日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会指導医、日本消化器外科学会認定医、臨床研修指導医
医師	土井 俊夫	日本内科学会認定内科医
医師	清重 浩一	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本医師会認定産業医、日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医、日本超音波医学会認定超音波専門医、日本救急医学会救急科専門医
医師	横田 成司	日本透析医学会透析専門医、日本泌尿器科学会泌尿器科指導医、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医、日本泌尿器科学会、日本泌尿器内視鏡学会、泌尿器腹腔鏡技術認定制度、日本がん治療認定医機構がん治療認定医
医師	深田 義夫	麻酔標榜医
医師	小原 卓爾	日本内科学会認定内科医、日本医師会認定産業医
医師	長瀬 教夫	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本医師会認定産業医、臨床研修指導医
医師	近藤 慎治	日本外科学会認定医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本消化器外科学会認定医
医師	篠原 正幸	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本血液学会認定血液専門医、日本血液学会認定指導医、日本医師会認定産業医、インフェクションコントロールドクター（ICD）、臨床研修指導医
医師	木村 建彦	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会認定医、臨床研修指導医
医師	野間 喜彦	日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会研修指導医、日本糖尿病学会専門医、日本臨床検査医学会 日本専門医機構 臨床検査専門医
医師	日下 まき	日本医学放射線学会放射線診断専門医
医師	小松 まち子	日本内科学会認定内科医、日本糖尿病学会研修指導医、日本糖尿病学会専門医、日本医師会認定産業医、日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士、日本人間ドック学会人間ドック認定医、日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医、日本医師会認定健康スポーツ医
医師	宮 恵子	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本糖尿病学会研修指導医、日本糖尿病学会専門医、日本医師会認定産業医、日本内分泌学会内分泌代謝科(内科)専門医、日本内分泌学会内分泌代謝科指導医、日本甲状腺学会専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、臨床研修指導医
医師	高森 信行	日本内科学会認定内科医、日本循環器学会循環器専門医、日本心血管インターベンション治療学会心血管カテーテル治療専門医、日本心血管インターベンション治療学会施設代表医、日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士、ゴア®バイアバーン®ステントグラフト実施医、臨床研修指導医
医師	橋詰 俊二	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、インフェクションコントロールドクター（ICD）
医師	曾根 佳世子	日本内科学会認定内科医、日本医師会認定産業医、日本消化器病学会消化器病専門医
医師	東 博之	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医
医師	岩瀬 俊	日本内科学会認定内科医、日本循環器学会循環器専門医
医師	城野 良三	日本医学放射線学会放射線診断専門医、日本核医学会PET核医学認定医、日本インターベンショナルラジオロジー学会専門医
医師	坂東 弘康	日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会 呼吸器専門医、日本呼吸器学会 呼吸器指導医、日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医、日本アレルギー学会専門医、日本アレルギー学会指導医、日本禁煙学会専門医、日本化学療法学会 抗菌化学療法指導医、日本感染症学会 感染症専門医、日本感染症学会 感染症指導医、日本プライマリ・ケア連合学会暫定指導医、インフェクションコントロールドクター（ICD）、臨床研修指導医、日本専門医機構 総合診療専門研修 特任指導医
医師	割石 精一郎	日本外科学会外科専門医、日本外科学会認定医、心臓血管外科専門医、心臓血管外科修練指導者、下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による指導医、日本集中治療医学会専門医、臨床研修指導医
医師	西出 俊二郎	日本麻酔科学会指導医、日本麻酔科学会専門医、臨床研修指導医
医師	井内 貴彦	日本内科学会認定内科医
医師	飛梅 威	日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本不整脈心電学会認定不整脈専門医、臨床研修指導医
医師	横田 綾	日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
医師	神田 和哉	日本透析医学会透析専門医、日本泌尿器科学会泌尿器科指導医、日本泌尿器科学会泌尿器科専門医、日本泌尿器科学会 日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定制度
医師	吉岡 伸治	日本医師会認定産業医、日本整形外科科学会専門医、日本人工関節学会認定医、日本外傷診療研究機構JATECインストラクター
医師	唐仁原 全	日本透析医学会透析専門医、日本透析医学会指導医、日本臨床腎移植学会腎移植認定医、日本移植学会移植認定医、日本外科学会外科専門医、日本外科学会外科指導医、日本医師会認定産業医
歯科医師	川島 友一郎	日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
医師	井上 朋子	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本透析医学会透析専門医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本腹膜透析医学会認定医

臨床工学技士	相坂 佳彦	透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士、日本心血管インターベンション治療学会心血管インターベンション技師、自衛消防組織統括管理者
臨床工学技士	大西 翔太	防火管理者
臨床工学技士	八幡 優季	透析技術認定士、日本心血管インターベンション治療学会心血管インターベンション技師
臨床工学技士	野口 隼一	透析技術認定士
臨床工学技士	吉村 浩昭	透析技術認定士
臨床工学技士	那佐出 朋代	透析技術認定士
臨床工学技士	山下 翔	透析技術認定士
臨床工学技士	平岡 大知	防火管理者
臨床工学技士	小賀野 和宏	透析技術認定士、徳島県糖尿病療養指導士、防火管理者
臨床工学技士	小山田 桂大	透析技術認定士
放射線技師	横内 義憲	医療安全管理者、X線CT認定技師
放射線技師	谷 恵理奈	第一種放射線取扱主任者
放射線技師	佐木山 薫	X線CT認定技師
放射線技師	松村 亮典	磁気共鳴専門技術者
臨床検査技師	多田 浩章	超音波検査士(循環器・血管)、徳島県肝炎医療コーディネーター、徳島県糖尿病療養指導士
臨床検査技師	山田 真由美	超音波検査士(消化器)
臨床検査技師	岡本 拓也	認定一般検査技師、認定腎臓病検査技師
臨床検査技師	吉川 由佳里	超音波検査士(循環器)、血管診療技師、徳島県肝炎医療コーディネーター
臨床検査技師	中岡 加奈子	超音波検査士(循環器)、徳島県糖尿病療養指導士
臨床検査技師	宮繁 歩那実	徳島県肝炎医療コーディネーター
臨床検査技師	徳永 尚樹	二級臨床検査士(血液学)、緊急臨床検査士
管理栄養士	原 恵子	日本糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士
管理栄養士	森 恭子	日本糖尿病療養指導士
管理栄養士	松浦 香織	日本糖尿病療養指導士
管理栄養士	大西 嘉奈子	静脈経腸栄養TNT-D認定管理栄養士、徳島県糖尿病療養指導士
管理栄養士	岩朝 奏	徳島県糖尿病療養指導士
薬剤師	志内 敏郎	医療安全管理者、第一種衛生管理者、認定実務実習指導薬剤師、腎臓病薬物療法専門薬剤師、日病薬病院薬学認定薬剤師
薬剤師	北條 千春	認定実務実習指導薬剤師
薬剤師	杉野 有里子	日病薬病院薬学認定薬剤師、徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士
薬剤師	村上 真也	第一種衛生管理者、日病薬病院薬学認定薬剤師、腎臓病療養指導士
薬剤師	飛田 知子	医療安全管理者
薬剤師	楠藤 梨恵	第一種衛生管理者、日病薬病院薬学認定薬剤師
薬剤師	空野 一葉	第一種衛生管理者、徳島県糖尿病療養指導士
薬剤師	宮岡 恵奈	日病薬病院薬学認定薬剤師
歯科衛生士	高石 和子	徳島県糖尿病療養指導士、認定歯科衛生士(認定分野A:摂食嚥下リハビリテーション)、認定歯科衛生士(認定分野A:糖尿病予防指導)、認定歯科衛生士(認定分野C:研修指導者・臨床実地指導者)
歯科衛生士	薦田 茜	嚥下トレーナー歯科衛生士、社会福祉士
歯科衛生士	藤倉 みき	嚥下トレーナー歯科衛生士、第一種歯科感染管理者、社会福祉士
歯科衛生士	上田 甲奈	嚥下トレーナー歯科衛生士、認定歯科衛生士(認定分野A:糖尿病予防指導)、認定歯科衛生士(認定分野C:研修指導者・臨床実地指導者)
歯科衛生士	山口 絵里	社会福祉士
理学療法士	大石 晃久	日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士、日本理学療法士協会認定指定管理者(上級)、日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、理学療法士臨床実習指導者
理学療法士	玉谷 高広	日本糖尿病療養指導士、徳島県糖尿病療養指導士、日本理学療法士協会認定指定管理者(上級)、日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、日本理学療法士協会 認定理学療法士(循環)、理学療法士臨床実習指導者

看護師	井上 愛	日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士
看護師	山田 美佳	日本腹膜透析医学会指導看護師
看護師	川人 克美	日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士
看護師	河野 久美子	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	勝浦 宏美	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	元木 寿依	徳島県糖尿病療養指導士、腎臓病療養指導士、日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士
看護師	藤本 花恵	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	美崎 緑	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	松尾 久代	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	森 朱世	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	武市 麻希	日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士
看護師	加瀬 郁子	日本腹膜透析医学会指導看護師、徳島県糖尿病療養指導士
看護師	高島 睦美	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	梯 佳那子	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	上田 ユキ	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	小笠 文子	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	上岡 理枝子	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	長江 菜緒	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	井幡 理恵	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	大津 裕美	日本認知症ケア学会認定認知症ケア専門士
看護師	富士谷 幸恵	徳島県糖尿病療養指導士
看護師	新開 リサ	日本腹膜透析医学会指導看護師
看護師	吉原 千代美	日本腎代替療法医専門職推進協会 腎代替療法専門指導士、透析技術認定士、日本腹膜透析医学会指導看護師、慢性腎臓病療養指導看護師
看護師	仲尾 和恵	日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士
看護師	田中 好美	透析技術認定士、慢性腎臓病療養指導看護師
看護助手	田中 寛子	ガイドヘルパー
臨床工学技士	道脇 宏行	透析技術認定士、臨床工学技士臨床実習指導者、防災管理者、防火管理者
臨床工学技士	萩原 雄一	医療安全管理者
臨床工学技士	細谷 陽子	透析技術認定士、徳島県糖尿病療養指導士、防火管理者、日本アフレスイス学会認定技士
臨床工学技士	中野 正史	透析技術認定士、防火管理者
臨床工学技士	東根 直樹	透析技術認定士、日本心血管インターベンション治療学会心血管インターベンション技師
臨床工学技士	磯田 正紀	防火管理者
臨床工学技士	長野 圭吾	医療安全管理者
臨床工学技士	原田 めぐみ	日本腹膜透析医学会指導臨床工学技士、日本アフレスイス学会認定技士
臨床工学技士	廣瀬 大輔	透析技術認定士、防災管理者、防火管理者、自衛消防組織統括管理者
臨床工学技士	三橋 和義	防火管理者
臨床工学技士	森 浩章	透析技術認定士
臨床工学技士	数藤 敬一	透析技術認定士
臨床工学技士	清水 一郎	透析技術認定士
臨床工学技士	成瀬 裕深	透析技術認定士
臨床工学技士	英 理香	透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士
臨床工学技士	野崎 麻子	防火管理者
臨床工学技士	麻 裕文	日本カプセル内視鏡学会小腸カプセル内視鏡読影支援技師、日本カプセル内視鏡学会大腸カプセル内視鏡読影支援技師、医療機器情報コミュニケータ(MDIC)
臨床工学技士	露口 達也	徳島県糖尿病療養指導士
臨床工学技士	鎌田 優	透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士
臨床工学技士	田中 悠作	透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士
臨床工学技士	東口 裕亮	日本腹膜透析医学会指導臨床工学技士
臨床工学技士	岡田 大佑	透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士

岡田　一義	日本腹膜透析医学会評議員、日本腎不全合併症医学会評議員・理事、日本腎不全栄養研究会顧問、日本高齢者腎不全研究会代表世話人、四国透析療法研究会世話人、徳島透析療法研究会世話人
小松　まち子	徳島市医師会糖尿病対策委員会委員
野間　喜彦	日本糖尿病学会功労学術評議員、徳島県医師会生活習慣病予防対策委員会糖尿病対策班班長、糖尿病対策推進会議地域委員（日本医師会、日本糖尿病学会）、徳島県糖尿病協会理事、プラス1000歩県民運動促進会会長、徳島CDEJ会顧問医師、徳島NST研究会幹事、徳島大学医学部臨床教授、徳島県保険者協議会顧問
宮　恵子	徳島市医師会女性医師プロジェクト委員
坂東　弘康	徳島県立海部病院名誉院長、徳島大学医学部臨床教授、日本禁煙学会評議員、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会徳島県支部長
井上　朋子	日本腹膜透析医学会評議員、日本腎不全合併症医学会評議員、日本腎・血液浄化AI学会理事、日本腎不全合併症医学会総務委員、日本腎・血液浄化AI学会広報委員・学術委員
川島　友一郎	徳島大学臨床准教授、徳島県歯科医師連盟評議員、徳島県歯科医師会地域保健部常任委員、徳島市歯科医師会代議員
田代　学	日本アフレスシス学会関西地方会評議員、徳島透析療法研究会幹事、日本腎不全合併症医学会評議員、日本透析医学会評議員、日本透析医学会学術委員会　コメディカルスタッフ研究助成基金運営委員会委員・専門医制度委員会　研修プログラム小委員会委員・専門医制度委員会　専門医認定小委員会委員
島　久登	東北大学大学院医学系研究科大学院非常勤講師、日本腎臓学会評議員・症例評価委員会委員、日本臨床医学会統計調査委員会　統計解析小委員会委員、日本動脈硬化学会評議員、日本高血圧学会評議員、日本アフレスシス学会評議員
三好　人正	日本消化器内視鏡学会四国支部評議員、徳島大学大学院保健科学研究科非常勤講師、徳島大学大学院医歯薬学研究部消化器内科学分野非常勤講師
岩瀬　俊	徳島大学医学部非常勤講師
志内　敏郎	日本腎臓病薬物療法学会理事・代議員・専門薬剤師認定制度委員長・広報委員・COI委員長、徳島県病院薬剤師会理事、徳島腎と薬剤研究会会長、CKD・CVD薬剤研究会会長、徳島薬剤師循環器研究会世話人
村上　真也	徳島腎と薬剤研究会事務局、CKD・CVD薬剤研究会事務局
原　恵子	徳島NST研究会幹事
森　恭子	徳島腎と栄養研究会幹事
松浦　香織	徳島県医療栄養士協議会幹事
多田　浩章	徳島県臨床検査技師会生理検査研究班班長、徳島心エコー図研究会世話人、令和4・5年度　日本臨床検査技師会中四国支部学術部門長（臨床生理部門）
徳永　尚樹	日本血栓止血学会標準化委員会役員、日本抗リン脂質抗体標準化ワークショップ役員、日本臨床化学会止血・血栓検査専門委員会凝固波形解析プロジェクト委員、日本検査血液学会編集委員、日本医療検査科学会血液検査機器技術委員会委員、三重県立総合医療センター客員研究員
吉川　由佳里	徳島県臨床検査技師会生理検査研究班副班長、徳島県臨床検査技師会精度管理専門委員（生理部門）
赤澤　正義	日本核医学技術学会中四国地方会世話人、徳島核医学研究会世話人
大石　晃久	日本心臓リハビリテーション学会評議員、日本心臓リハビリテーション学会四国支部幹事・評議員、徳島県心臓リハビリテーション研究会世話役
玉谷　高広	日本心臓リハビリテーション学会四国支部評議員、四国理学療法士学会　査読委員、徳島県理学療法士会　健康増進部員、東部LCDEの会　徳島市支部　世話人
田尾　知浩	一般社団法人徳島県臨床工学技士会監事　徳島透析療法カンファレンス幹事
道脇　宏行	一般社団法人日本血液浄化技術学会学術委員、一般社団法人徳島県臨床工学技士会理事・学術教育委員会委員長
山下　翔	一般社団法人徳島県臨床工学技士会理事・若手人材活性化委員会委員長、中四国臨床工学会連絡協議会若手委員会委員
平野　春美	徳島腎と栄養研究会幹事
三宅　直美	徳島腎不全看護研究会幹事
西分　延代	徳島県立総合看護学校准看護学科講師、徳島県看護協会教育委員
祖地　香織	徳島県立総合看護学校第一看護学科講師
笹田　真紀	徳島県看護協会ナースバンクプロジェクト委員、徳島県立総合看護学校准看護学科講師
数藤　康代	徳島腎不全看護研究会幹事・事務局、日本腎不全看護学会慢性腎臓病療養指導看護師徳島県代表、一般社団法人日本サイコネフロジー学会広報委員
佐藤　裕子	徳島CDEJ会世話人
奥尾　康晴	一般社団法人阿波あいネットシステム管理委員
横内　義憲	徳島CT研究会世話人
山本　晃平	徳島CDEJ会世話人
高石　和子	徳島県歯科衛生士会学術担当理事
福壽　悦子	徳島CDEJ会世話人

理学療法士	友成　美貴	日本理学療法士協会　認定理学療法士（脳血管）
理学療法士	宮本　智彦	徳島県糖尿病療養指導士、日本DMAT隊員　業務調整員、理学療法士臨床実習指導者
理学療法士	若山　憲市	日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、日本理学療法士協会認定理学療法士（介護予防）
理学療法士	秦　麻友	日本理学療法士協会認定指定管理者（上級）、日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、日本理学療法士協会　認定理学療法士（脳血管）
理学療法士	西本　篤史	日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリテーション指導士、日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、日本理学療法士協会　認定理学療法士（循環）、理学療法士臨床実習指導者
作業療法士	登井　麻絵	徳島県糖尿病療養指導士、日本認知症ケア学会認定認知症ケア専門士、日本作業療法士協会　認定介護予防推進リーダー、公認心理師、作業療法士臨床実習指導者
作業療法士	三宅　輝美	3学会合同呼吸療法認定士、徳島県糖尿病療養指導士、日本作業療法士協会　認定介護予防推進リーダー、日本作業療法士協会　認定作業療法士、作業療法士臨床実習指導者
理学療法士	山本　晃平	日本糖尿病療養指導士、日本理学療法士協会認定指定管理者（上級）、日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、日本理学療法士協会　認定理学療法士（代謝）
理学療法士	高田　杏	日本理学療法士協会認定地域ケア会議推進リーダー、日本理学療法士協会認定介護予防推進リーダー、日本理学療法士協会認定理学療法士（運動器）
言語聴覚士	岩田　亮	日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、日本咀嚼学会健康咀嚼指導士、LSVT®LOUD認定セラピスト

社会福祉士	田中　リエ	社会福祉士	クラーク	田中　美優	医師事務作業補助者
社会福祉士	末綱　麻由美	社会福祉士	クラーク	横田　浩子	医師事務作業補助者
クラーク	森本　麻友美	医師事務作業補助者	クラーク	福本　美穂	医師事務作業補助者
クラーク	香川　泰子	医師事務作業補助者	クラーク	新田　夕姫	医師事務作業補助者
クラーク	秋田　悦代	医師事務作業補助者	クラーク	桶谷　亜由	医師事務作業補助者
クラーク	中田　未希	医師事務作業補助者	クラーク	藏本　美園	医師事務作業補助者
クラーク	八幡　靖子	医師事務作業補助者	クラーク	笠井　咲耶	医師事務作業補助者
クラーク	佐藤　真理子	医師事務作業補助者	事務	宮島　彰子	診療情報管理士
クラーク	近藤　由紀子	医師事務作業補助者	事務	辰己　奈月	診療情報管理士
クラーク	藤澤　真弓	医師事務作業補助者	事務	竹森　洋介	診療情報管理士
クラーク	藤田　豊子	医師事務作業補助者	事務	西本　葉月	診療情報管理士
クラーク	寒川　里恵	医師事務作業補助者	事務	原　雅子	診療情報管理士
クラーク	細田　真帆子	医師事務作業補助者	事務	前坂　里美	施設基準管理士
クラーク	井上　有貴子	医師事務作業補助者	事務	奥尾　康晴	医療情報技師
クラーク	島田　菜央	医師事務作業補助者	事務	末包　博人	医療情報技師
クラーク	橘　迪子	医師事務作業補助者			

川島　周	日本赤十字社理事、徳島県赤十字有功会副会長、徳島大学臨床教授、徳島の彫刻文化を進める会会長
水口　潤	日本腹膜透析医学会理事長・評議員、日本ハイパフォーマンスメンブレン研究会理事長、日本HDF医学会理事、日本透析アクセス医学会副理事長、腎臓病臨床経済協議会理事、とくしま移植医療推進財団理事、腎臓病SDM推進協会幹事、日本臨床腎移植学会監事、四国透析療法研究会監事、日本臨床腎移植学会評議員、徳島大学医学部腎臓内科臨床教授、徳島透析医会会長、日本腎不全栄養研究会顧問、バスキュラーアクセスインターベンション治療研究会世話人、日本腎・血液浄化AI学会監事・顧問、日本臓器移植関連協議会世話人、日本血液浄化技術学会顧問、徳島透析療法研究会顧問、日本腎不全合併症医学会監事、日本透析医会理事
西内　健	日本循環器学会四国支部評議員、日本心臓リハビリテーション学会四国支部評議員、徳島県立総合看護学校准看護学科講師
本藤　秀樹	徳島県医師会常任理事、徳島県立中央病院顧問、徳島治験ネットワーク機構理事、徳島県後期高齢者医療広域連合運営懇話会委員、徳島県後発医薬品適正使用協議会委員会、阿波あいネット理事、四国地方社会保険医療協議会委員、徳島県地域医療協議会委員
西谷　真明	徳島市医師会前立腺癌検診委員会委員長
長瀬　教夫	独立行政法人国立病院機構東徳島医療センター名誉院長、日本循環器学会四国支部評議員、徳島文理大学非常勤講師

岡田一義	医師	Kowa Webカンファレンス		座長	2022/7/22
		第6回中国四国在宅透析研究会	特別講演	座長	2022/9/10
		第6回中国四国在宅透析研究会	特別講演	座長	2022/9/10
		第52回徳島透析療法研究会	ランチョンセミナー	座長	2022/11/6
		Kowa Webカンファレンス		座長	2022/11/24
		第28回日本腹膜透析医学会学術集会	総会教育講演	座長	2022/11/26
		第28回日本腹膜透析医学会学術集会	総会会長企画	座長	2022/11/27
飛梅威	医師	第14回日本不整脈心電学会埋め込みデバイス関連冬季大会		座長	2022/2/11-2/13
		第6回アブレーション研究会		座長	2022/12/10
野間喜彦	医師	GLP-1受容体作動薬と治療継続を考える会		座長	2022/5/27
		Diabetes Update in 徳島		座長	2022/10/28
		DUAL Seminar in 徳島		座長	2022/11/15
川島友一郎	歯科医師	第63回全国日本病院学会in静岡		座長	2022/10/1
田代学	医師	第67回日本透析医学会学術集会・総会	一般演題	座長	2022/7/1
島久登	医師	第44回日本高血圧学会総会	一般講演	座長	2022/10/14
井上朋子	医師	第67回日本透析医学会・学術集会	一般演題	座長	2022/7/1
		第67回日本透析医学会・学術集会	ワークショップ	司会	2022/7/2
		第2回日本腎・血液浄化AI学会	一般演題	座長	2022/10/30
西分延代	看護師	第28回日本腹膜透析医学会学術集会・総会		座長	2022/11/26-11/27
志内敏郎	薬剤師	第13回CKD・CVD薬剤研究会		座長	2022/4/14
		第29回徳島腎と薬剤研究会		座長	2022/4/26
		第30回徳島腎と薬剤研究会		座長	2022/9/1
		第14回CKD・CVD薬剤研究会		座長	2022/10/13
		第15回CKD・CVD薬剤研究会		座長	2022/12/8
		第16回日本腎臓病薬物療法学会	ランチョンセミナー	座長	2022/10/29
		第16回日本腎臓病薬物療法学会	シンポジウム	座長	2022/10/29
田尾知浩	臨床工学技士	第67回日本透析医学会学術集会・総会	一般演題	座長	2022/7/2
道脇宏行	臨床工学技士	第67回日本透析医学会学術集会・総会	一般演題	座長	2022/7/1
		2022年度第1回血液浄化セミナー	特別講演	座長	2022/7/29
		第28回日本血液透析濾過医学会学術集会・総会	一般演題	座長	2022/10/15
		第2回血液浄化セミナー	教育講演	司会	2022/10/25
萩原雄一	臨床工学技士	第67回日本透析医学会学術集会・総会	一般演題	座長	2022/7/2
多田浩章	臨床検査技師	第77回日本医学検査学会	一般演題	座長	2022/5/21-22
		第73回徳島心臓・図研究会	共催セミナー	座長	2022/9/30
		第55回中四国支部医学検査学会	一般演題	座長	2022/10/22
		第46回徳島県医学検査学会	一般演題	座長	2022/12/11
玉谷高広	理学療法士	第33回徳島県理学療法士学会	一般演題	座長	2022/10/10
大石 晃久	理学療法士	第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	一般演題	ディスカッサント	2022/6/11
山下翔	臨床工学技士	第12回中四国臨床工学会		座長	2022/10/1
東口裕亮	臨床工学技士	第52回徳島透析療法研究会		座長	2022/11/6
		第53回徳島透析療法研究会		座長	2022/11/7
		第54回徳島透析療法研究会		座長	2022/11/8
吉川由佳里	臨床検査技師	第55回中四国支部医学検査学会	シンポジウム	司会	2022/10/22

職員数

2023年4月1日現在 注：()内は2022年4月1日現在

■社会医療法人川島会 職員数合計／687名(667)

●常勤医師／47名(46)	●非常勤医師／54名(52)	●歯科医師／1名(1)	●非常勤歯科医師／6名(4)
●看護師／170名(164)	●准看護師／18名(18)	●看護助手／83名(77)	●薬剤師／13名(13)
●管理栄養士／5名(6)	●臨床検査技師／12名(12)	●診療放射線技師／13名(13)	●臨床工学技士／87名(86)
●理学療法士／9名(9)	●作業療法士／2名(2)	●言語聴覚士／1名(1)	●歯科衛生士／5名(6)
●社会福祉士／2名(4)	●医事課／34名(34)	●診療情報課／3名(3)	●クラーク／61名(55)
●総務課／26名(24)	●医療支援部／22名(22)	●訪問介護員／15名(15)	

■社会福祉法人飛鳥 職員数合計／35名(37)

●施設長／1名(1)	●管理者／3名(4)	●介護支援専門職員／3名(3)	●看護師／3名(3)
●介護職員／7名(18)	●生活相談員／1名(0)	●サービス提供責任者／2名(3)	●訪問介護員／12名(5)
●福祉用具専門相談員／3名(0)	●医療ソーシャルワーカー／0名(0)		

座長、司会等／2022年1月～12月

水口潤	医師	キッセイ透析領域Web講演会		座長	2022/2/17
		キッセイ透析領域Web講演会		座長	2022/3/10
		慢性腎臓病を考えるIn TOKUSHIMA		座長	2022/3/23
		藤元製薬株式会社アセлинд注Webセミナー		座長	2022/3/25
		マスレッド発売1周年記念講演会		座長	2022/4/21
		血液浄化療法Expert Seminar		座長	2022/5/24
		第67回日本透析医学会学術集会・総会	ワークショップ	司会	2022/7/1
		第67回日本透析医学会学術集会・総会	会長講演	司会	2022/7/1
		第67回日本透析医学会学術集会・総会	ランチョンセミナー	司会	2022/7/1
		第67回日本透析医学会学術集会・総会	ランチョンセミナー	座長・演者	6/30-7/3
		第67回日本透析医学会学術集会・総会	共催ランチョンセミナー40	司会	2022/7/3
		腎疾患における病診連携を考える in 徳島		座長	2022/7/19
		日本高齢者腎不全研究会	教育講演	座長	2022/7/30
		Parsabiv Web Symposium2022		座長	2022/9/27
		腹膜透析WEBセミナー～腹膜透析療法の普及に向けて～		座長	2022/10/6
		第67回日本透析医学会共催セミナー LS-33		座長	2022/10/15-16
		第28回日本血液透析濾過医学会学術集会・総会	ランチョンセミナー	座長	2022/10/15
		徳島腎代替療法セミナー		座長	2022/10/21
		第2回日本腎・血液浄化AI学会共催セミナー		総合座長	2022/10/30
		第52回徳島透析療法研究会	ランチョンセミナー	座長	2022/11/6
		第28回日本腹膜透析医学会学術集会		座長	2022/11/27
		腎性貧血治療 Up to Date in 徳島		司会	2022/12/1
		I-HDF研究会 日本腎不全合併症学会合同企画		座長	2022/12/11
		血液浄化療法Expert Seminar		座長	2022/12/16
		エナロイ錠発売2周年記念全国Webセミナー	特別講演	座長	2022/12/23
西内健	医師	第18回徳島心臓リハビリテーション研究会		座長	2022/4/20
		第1回徳島心疾患地域連携ネットワーク		座長	2022/7/8
		第55回ペーシング治療研究会	スポンサードセミナー1	座長	2022/8/27
		FORXIGAオンラインセミナー～慢性腎不全治療について考える～		座長	2022/10/11
岡田一義	医師	ウバシタ新発売記念講演会in徳島	基調講演	座長	2022/2/24
		カリメートWebカンファレンス		座長	2022/3/24
		日本医工学治療学会第38回学術大会	ランチョンセミナー	座長	2022/5/15
		Cutting Edge CKD-MBD2022～透析治療の未来を考える～	総合討論	座長	2022/5/21
		第67回日本透析医学会学術集会		座長	2022/7/1
		第67回日本透析医学会学術集会		座長	2022/7/2
		第67回日本透析医学会学術集会	ランチョンセミナー	座長	2022/7/3



澄んで凍えた強風が、積雪のあった大川原高原を駆け抜ける。(2月)

編集後記

能登地方で震災が発生し、翌日には航空機事故が
起こるという未曾有の年明けとなりました。
私もそのとき羽田空港におり、混乱のさなか、何を記録すべきか少し考えていました。

今回の広報誌では川島病院の誕生から現在まで、写真や資料を宝探しのよう集め、まとめてみました。

このような形で、これまでの歴史の一部を保存することで、少しほっとしています。

100年先は言い過ぎかもしれませんが、
いつかだれかが振り返るときに役立てればと思います。

私は入職してすぐ広報委員会へ入り、15年近く経過しました。
その間たくさんの方に記事を寄稿して頂き、数多くの写真撮影もさせて頂きました。
今回も広報誌作成に携わってくださった皆さんはもちろん、
これまで川島会に貢献され、記録を綴ってくださった皆さんにも感謝申し上げます。

広報委員長 川島友一郎

診療統計等(2022年4月～2023年3月)

■外来患者延数 ■歯科患者延数 ■入院患者延数 ■新入院患者延数

外来患者延数	歯科患者延数	入院患者延数	新入院患者延数
131,222名	8,496名	33,009名	2,090名

■血液透析患者数(3月31日現在)

川島病院	川島透析クリニック	鴨島川島クリニック	鳴門川島クリニック	
474名	31名	119名	121名	
脇町川島クリニック	阿南川島クリニック	藍住川島クリニック	在宅透析	合計
106名	60名	101名	5名	1,017名

■延べ回数

川島病院	川島透析クリニック	鴨島川島クリニック	鳴門川島クリニック	
79,629回	3,976回	18,196回	17,929回	
脇町川島クリニック	阿南川島クリニック	藍住川島クリニック	合計	アフエーシス
16,295回	8,315回	13,825回	158,165回	61回

■透析患者数

	新規導入患者数	患者数
HD	85名	1,017名
PD	12名	109名

■腎移植患者数 ●患者数／78名 3月31日現在

■主要処置・検査件数

消化器内視鏡	CT	冠動脈CT	シャントPTA
1,979件	5,337件	352件	485件
腎生検	心カテ/PTCA	RI	MRI
52件	156件	247件	2,306件
心エコー	骨密度	嚥下内視鏡	
3,204件	1,022件	20件	

■手術・処置件数

手術総数	結石破砕	シャントPTA	ペースメーカー植え込み
1,471件	65件	485件	32件

■栄養指導件数 ●指導件数／2,550件

■糖尿病教室 ●2件

①2022年11月24日	足について	参加4名
②2023年3月23日	糖尿病と感染症	参加4名

■リハビリ実施単位数

●理学	19289単位
●作業	4374単位
●言語	1409単位
●摂食機能療法	28件 ※運用開始2022年11月～

■ケアハウス飛鳥入居者数(延べ)	598名
■デイサービス利用者数(延べ)	6156名
■ヘルパーステーション利用者数(延べ)	824名
■在宅介護支援センター計画者数(延べ)	1338名
■福祉用具貸与販売 貸与者数(延べ)	146名 ※事業開始2022年11月～

■介護タクシー	●利用者人数(無料送迎を含む)	124名 (うち透析患者79名)
	●利用回数	1879回(うち透析患者1731回)

■治験	●川島病院 第Ⅲ相試験	2件
-----	-------------	----